

令和 3 年 度

**教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検・評価に関する報告書
(令和 2 年度対象)**

令和 3 年 1 1 月

帯広市教育委員会

目 次

1	教育委員会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（1）組織・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（2）主な職務権限・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（3）令和2年度教育委員会の活動状況・・・・・・・・	2
2	点検及び評価の基本的な考え方・・・・・・・・	5
	（1）趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	（2）対象・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	（3）方法・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	（4）学識経験者の知見の活用・・・・・・・・	5
	（5）帯広市教育基本計画の施策体系・・・・・・・・	6
3	点検及び評価の結果・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	（1）基本目標 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり	8
	（2）基本目標 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり	36
4	教育に関する学識経験者の意見・・・・・・・・	54
	参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・	56
	資料1 令和2年度教育行政執行方針・・・・・・・・	57
	資料2 令和2年度予算決算・・・・・・・・	59
	資料3 令和2年度における主な取り組み一覧・・・・・・・・	61
	資料4 成果指標の推移・・・・・・・・	69

1 教育委員会の概要

(1) 組織

教育委員会は、政治的中立性を維持しつつ、安定性・継続性を確保して教育行政を管理・執行するため、首長から独立した合議体の執行機関として設置されています。帯広市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び4人の教育委員で組織されています。

帯広市教育委員会（令和3年3月31日現在）

- 教育長 池 原 佳 一 （令和 元 年10月26日 就任）
- 委 員 田 中 厚 一 （平成19年 4 月 1 日 就任）
- 委 員 藤 澤 郁 美 （平成27年 6 月23日 就任）
- 委 員 佐々木 しゅり （平成28年 6 月23日 就任）
- 委 員 柳 川 久 （令和 2 年12月21日 就任）

(2) 主な職務権限

- 教育行政の一般方針に関すること。
- 委員会規則及び規程の制定及び改廃に関すること。
- 不服申立及び訴訟に関すること。
- 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
- 通学区域の設定及び変更に関すること。
- 職員（道費負担職員を除く。）の任免、分限及び懲戒その他の人事に関すること。
- 道費負担職員の校長及び教頭の任免並びに道費負担職員の分限及び懲戒の内申に関すること。
- 社会教育委員の委嘱及び解職に関すること。
- 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案についての意見申出に関すること。
- 教科用図書の採択に関すること。
- 重点計画の策定及び変更に関すること。

(3) 令和2年度教育委員会の活動状況

① 教育委員会会議の開催状況

期日	番号	案件
令和2年4月15日	議案第38号	職員の人事について
令和2年4月24日	議案第39号 報告第8号 報告第9号 その他	職員の人事について 帯広市奨学生選考委員会委員の解任及び委嘱について 教職員の処分について (1) 帯広市議会3月定例会の報告について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について
令和2年5月15日	議案第40号	令和2年度帯広市一般会計補正予算(第2号)について
令和2年5月19日	議案第41号 議案第42号 報告第10号 報告第11号 その他	帯広市社会教育委員の解職について 帯広市社会教育委員の委嘱について 帯広市教育支援委員会委員の委嘱について 帯広市図書館協議会委員の任命について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
令和2年5月27日	議案第43号	令和2年度帯広市一般会計補正予算(第3号)について
令和2年6月15日	議案第44号	令和2年度帯広市一般会計補正予算(第4号)について
令和2年6月19日	議案第45号	令和2年度帯広市一般会計補正予算(第5号)について
令和2年6月26日	報告第12号 報告第13号 報告第14号 報告第15号 報告第16号 その他	帯広市教科用図書選定委員会委員の委嘱について 帯広市学校給食センター運営委員会委員の解任及び任命について 帯広市教育研究所運営委員会委員の委嘱について 帯広市民文化ホール運営審議会委員の解任について 帯広市スポーツ推進審議会委員の解任及び任命について (1) 帯広市議会6月定例会の報告について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について
令和2年7月8日	議案第46号	職員の人事について
令和2年7月20日	議案第47号 議案第48号 議案第49号 報告第17号 その他	帯広市社会教育委員の解職について 帯広市社会教育委員の委嘱について 令和2年度帯広市一般会計補正予算(第6号)について 帯広市青少年問題協議会委員の委嘱について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
令和2年8月6日	議案第50号 議案第51号 議案第52号 報告第18号	小学校用教科用図書の採択について 中学校用教科用図書の採択について 高等学校用教科用図書の採択について 教科用図書の採択に係る情報の公表について
令和2年8月21日	議案第53号 その他	令和2年度帯広市一般会計補正予算(第7号)について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
令和2年9月3日	議案第54号 議案第55号 議案第56号 議案第57号 報告第19号 その他	財産取得について 財産取得について 財産取得について 令和元年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について 帯広市教育支援委員会委員の委嘱について (1) 今後の事業予定について
令和2年9月25日	議案第58号 議案第59号	令和2年度帯広市文化賞及び文化奨励賞等の決定について・ 令和2年度帯広市スポーツ賞の決定について・
令和2年10月30日	議案第60号 議案第61号 議案第62号 報告第20号 報告第21号 報告第22号 その他	職員の人事について 令和3年度帯広市立高等学校の入学募集について 令和2年度帯広市市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 公立学校情報機器整備費補助金に係る計画について 帯広市立学校における「携帯電話の取扱いに関する基本的な指導方針」の策定について (1) 帯広市議会9月定例会の報告について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について

期日	番号	案件
令和2年11月17日	議案第63号 議案第64号 議案第65号 報告第23号 報告第24号 報告第25号 報告第26号 その他	令和2年度帯広市一般会計補正予算(第9号)について 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について 帯広市立小学校及び中学校通学区域規則の一部改正について 帯広市立学校再開に向けた方針について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和2年12月22日	議案第66号 議案第67号 報告第27号 報告第28号 報告第29号 報告第30号 報告第31号 報告第32号 報告第33号 報告第34号 その他	帯広市学校給食センター条例施行規則の一部改正について 帯広市学校開放事業の管理運営に関する規則の一部改正について 帯広市教育支援委員会委員の委嘱について 帯広市教育支援委員会委員の解任について 令和2年度とかちジュニア文芸各賞の決定について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1)帯広市議会12月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について
令和3年1月26日	議案第1号	教職員の処分内申について
令和3年1月29日	議案第2号 報告第1号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 報告第5号 その他	帯広市体育施設条例の一部改正について 大空小学校跡地利用の検討状況について 帯広市図書館協議会委員の解任及び任命について 帯広市岩内自然の村の今後のあり方(中間報告)について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和3年2月5日	議案第3号	職員の人事について
令和3年2月16日	議案第4号 議案第5号 報告第6号 報告第7号 その他	令和2年度帯広市一般会計補正予算(第15号)について 令和3年度帯広市一般会計予算について 令和2年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞について 教職員の処分について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和3年3月10日	議案第6号	令和2年度帯広市一般会計補正予算(第17号)について
令和3年3月18日	議案第7号 議案第8号 議案第9号 議案第10号 報告第8号 報告第9号 報告第10号 報告第11号 報告第12号 その他	令和3年度帯広市教育行政執行方針について 教職員の人事内申について 個別施設計画(市民文化・社会教育系施設、スポーツ系施設等)の改訂(案)について 帯広市図書館条例施行規則の一部改正について 令和3年度帯広市学校教育指導の重点について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 令和3年度コロナ禍における帯広市学校教育推進の方針について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について

期日	番号	案件
令和3年3月23日	議案第11号	職員の人事について
	議案第12号	職員の人事について
	議案第13号	職員の人事について
令和3年3月26日	議案第14号	申請書等における押印の見直しに伴う関係規則の整理等に関する規則制定について
	議案第15号	帯広市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
	議案第16号	帯広市教育委員会職員職名規則の一部改正について
	議案第17号	帯広市教育施策推進委員会設置規程の一部改正について

- ・教育委員会会議開催回数 25回
- | | | | |
|------|-----|-------|--------------------------|
| 議決案件 | 47件 | うち非公開 | 37件（うち所定の手続き後会議録を公開 35件） |
| 報告案件 | 39件 | うち非公開 | 22件（うち所定の手続き後会議録を公開 6件） |
| その他 | 27件 | | |

〔参考〕教育委員会会議の非公開について

教育委員会会議は、公開が原則ですが、①個人の権利を侵害するおそれのあるもの、②職員の任免、賞罰、人事等、③議会の議案に係る意見申出、④訴訟、不服申立に係るもの、⑤教育行政の公正、円滑な運営に支障が生じるおそれがあるものについては、出席委員の3分の2以上の多数で、公開しないことができます。（帯広市教育委員会会議規則第16条）

② 課題研究協議会開催状況

回数	期日	テ ー マ
1	令和2年4月24日	「成人の集い」対象年齢について
2	令和2年5月19日	中学校教科用図書の採択について
3	令和2年6月26日	「成人の集い」対象年齢について
4	令和2年7月22日	教科用図書の答申内容について
5	令和2年9月3日	G I G A スクール構想について
6	令和2年12月16日	コロナ禍における今後の教育行政について
7	令和2年12月22日	帯広市岩内自然の村の今後のあり方(中間報告)(案)について

③ 総合教育会議の開催状況

期日	番号	案件
第1回 令和3年3月29日	協議事項	子どもたちの学びのあり方について

〔参考〕総合教育会議について

帯広市総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第1項に基づき設置するもので、以下の事項について、帯広市長と帯広市教育委員会による協議及び事務の調整等を行うこととしています。

- (1) 帯広市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定
- (2) 帯広市の教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき措置
- (3) 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置

④ 行事等参加状況

期日	行事名	出席者数
令和2年10月11日	スポーツ賞表彰式	5人
令和2年11月3日	帯広市文化賞・文化奨励賞・文化活動功労賞表彰式	5人
令和2年11月28日	帯広市民文芸賞表彰式	1人
令和3年2月20日	とかちジュニア文芸賞表彰式	1人
令和3年2月25日	学校文化活動奨励賞表彰式	1人
令和3年2月26日	教育研究実践表彰式	1人

延べ14人

2 点検及び評価の基本的な考え方

(1) 趣旨

効果的な教育行政の推進をはかるとともに、市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育の取り組みについて点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、あわせて市民に公表するものです。

(2) 対象

「帯広市教育基本計画（令和2年度～令和11年度）」の体系に従い、令和2年度に実施した取り組みを対象として、点検及び評価を実施しました。

(3) 方法

点検及び評価は、第七期帯広市総合計画の施策・事務事業評価と整合をはかりつつ、「帯広市教育基本計画（令和2年度～令和11年度）」の「個別施策」ごとに行いました。具体的には、成果指標の達成状況や令和2年度における主な取り組みなどを踏まえながら、令和2年度における取り組みの成果と、課題及び今後の方向性の2つの観点から、点検及び評価を行いました。

(4) 学識経験者の知見の活用

学識経験者から点検及び評価に関する意見や助言をいただき、教育委員会が点検及び評価を行うに当たって客観性を確保するとともに、今後の取り組みに活用していきます。

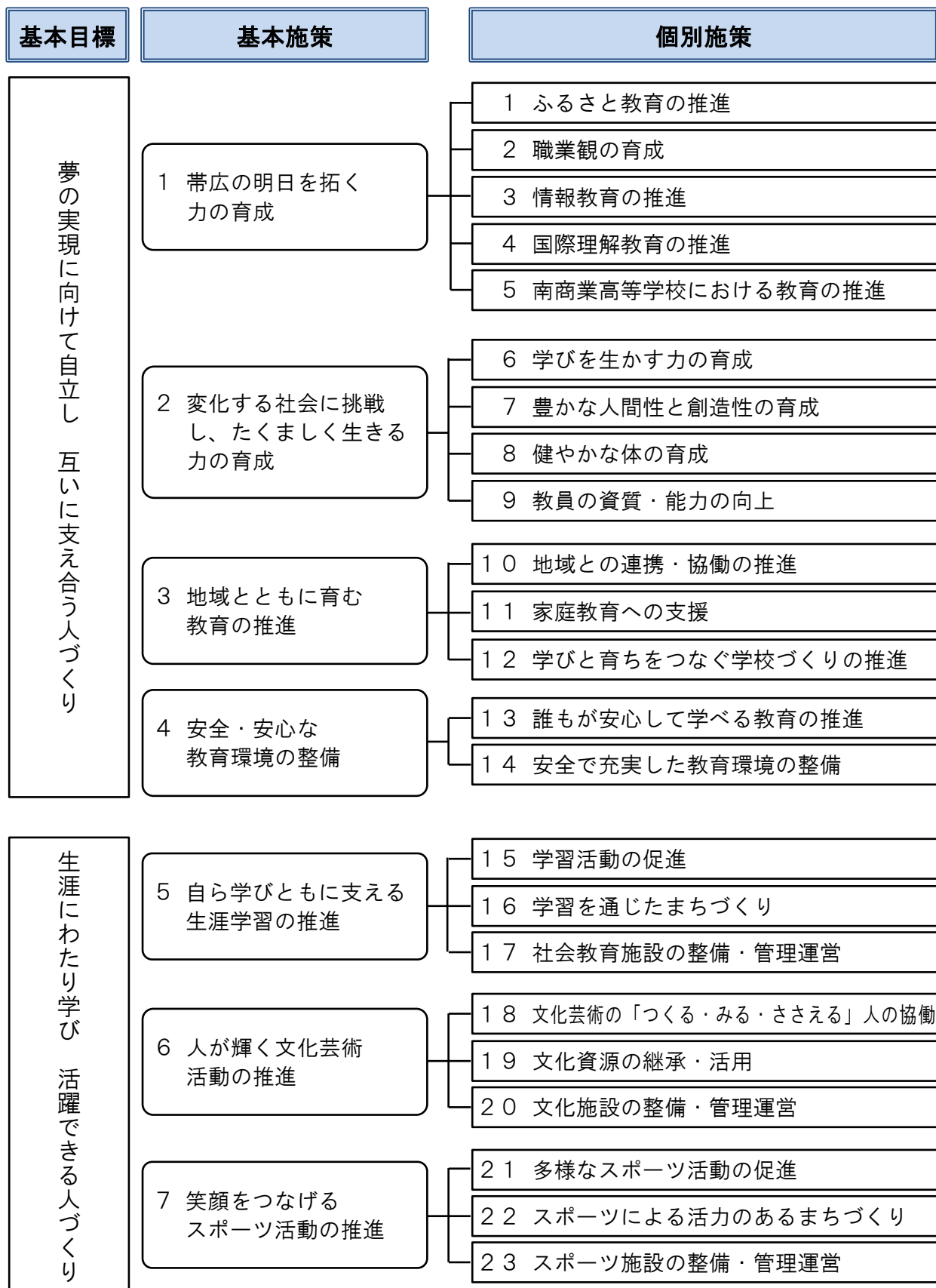
参考1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(5) 帯広市教育基本計画の施策体系



めざす姿

子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、社会の一員として地域活動に積極的に参加しています。

子どもたちが様々な職業に興味を持ち、働くことの大切さや地域産業への理解を深めています。

子どもたちがインターネットに関する基本的なルールを理解し、情報通信機器を正しく活用しています。

子どもたちが世界の多様な文化に関心を持ち、外国の人と交流しようとする姿勢を身に付けています。

生徒たちが専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材が育っています。

子どもたちが意欲的に学び、課題の解決に粘り強く取り組んでいます。

子どもたちが互いの価値観を尊重し、多様な人と協力し取り組んでいます。

子どもたちが運動に親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。

教員が子どもたちと向き合い、子どもたちの力を引き出す指導が行われています。

地域の人たちが子どもたちの教育に積極的にに関わり、健やかな成長を支えています。

各家庭において、子どもたちが規則正しい生活習慣や社会的なマナーを身に付ける教育が行われています。

学校間の連携により、子どもの個性を理解し尊重した指導が継続的に行われています。

障害の有無や家庭の経済状況等に関わらず、誰もが安心して学んでいます。

安全で機能的な学校施設の整備など、良好な教育環境のもとで、子どもたちが充実した学校生活を送っています。

誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。

学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。

社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。

文化芸術活動を通じて、心の豊かさや生きがい、人とのつながりが生まれています。

歴史、伝統、文化への理解を通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持っています。

市民が文化施設に魅力を感じ、積極的に活用しています。

誰もが、「する・みる・ささえる」など多様な形で、スポーツに親しんでいます。

誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツで集い、まちの賑わいづくりにつながっています。

スポーツ大会の開催をはじめ健康増進や仲間づくりなど、多くの人がスポーツ施設を活用しています。

3 点検及び評価の結果

(1) 基本目標 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり

基本施策1 帯広の明日を拓く力の育成

個別施策	1-1 ふるさと教育の推進
めざす姿	子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、社会の一員として地域活動に積極的に参加しています。
施策担当課	学校地域連携課、学校給食センター、学校教育指導課、教育研究所、児童会館、百年記念館、動物園、スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	44.7	39.4					60.0 以上
中学	39.1	38.9					55.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

小中学校ともに基準値を下回っており、目標値に向けて進捗していません。「おびひろ市民学」を小中学校で延べ500講座実施したものの、感染症の影響により学校以外の施設での学びや予定していた授業協力者との関わりが十分にできなかったことによるものと考えられます。

令和2年度の主な取り組みの内容	
◆おびひろ市民学 子どもたちが、十勝・帯広の歴史や文化、自然や産業等について、小中学校9年間を通して系統的に学び、十勝・帯広への理解を深め、郷土への愛着や誇りを育むとともに、様々な体験を通じて地域社会の一員としての意識を育む教育として、「おびひろ市民学」を令和2年度から市内全校で教育課程に位置付けました。	 ごみ収集車に集められた大量のごみを見る児童の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) 地域資源を活用したふるさと理解の促進 「おびひろ市民学」において、十勝・帯広の歴史や文化、自然や産業等について小中学校9年間を通して系統的に学び、郷土への愛着や誇りを育むとともに、様々な体験を通じて地域社会の一員としての意識を育む教育をすすめ、小中学校で延べ500講座以上を行いました。また、学校以外の各種教育施設においても、それぞれの特色を生かして、展示や各講座等を通じた学びの機会を提供しました。
	(2) 食を通じたふるさと理解の促進 地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供を通じて、地域の食や産業への理解促進をはかりました。また、学校給食への地場産農産物の積極的な活用や、「ふるさと農園」における地元生産者との交流等により、食に対する感謝の心の醸成をはかり、十勝・帯広の基幹産業である農業への興味・関心の向上に取り組みました。
	(3) 地域社会に参画する意識の醸成 地域の青少年活動の活性化のため、各団体等と連携し体験活動や宿泊研修を通して地域や学校での活動に取り組む青少年リーダーの養成を行いました。また、まちづくりに参画する社会の一員としての意識づくりのため、租税の役割や公共施設の整備について理解を深めたほか、ボランティアや防災活動への参加等に取り組みました。
	(4) 環境教育の推進 各教科の学習や児童会・生徒会活動等を通じて、地球規模で進む環境破壊や自然災害を自らの課題として捉え、主体的に課題解決に当たる態度を育むため、実社会との結びつきを意識した教育をすすめたほか、児童会館での展示や科学教室、百年記念館における出前講座等により環境について考え学ぶ機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1) 地域資源を活用したふるさと理解の促進 郷土への愛着や誇りを育むため、引き続き「おびひろ市民学」による系統的な学びをすすめることのほか、学校以外の教育施設を活用し、地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供します。
	(2) 食を通じたふるさと理解の促進 引き続き地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供や、「ふるさと農園」「おびひろ市民学」の取り組みを生かした地場産農産物の生産、流通、加工、販売、消費等の学びによる地域産業への理解を深める教育をすすめます。
	(3) 地域社会に参画する意識の醸成 リーダー養成事業の積極的な周知に加え、事業内容自体を子どもたちの興味を引くよう工夫し、今の時代に合った養成事業の充実をはかります。また、消費者の権利や責任ある消費行動を理解し、計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の基本的な知識を身に付ける教育をすすめます。
	(4) 環境教育の推進 学校での環境教育を推進するため、帯広の自然や施設を活用した体験機会を設けるほか、学校以外の教育施設を活用し、地域の自然環境を学び、考える機会を設けます。

個別施策	1-2 職業観の育成
めざす姿	子どもたちが様々な職業に興味を持ち、働くことの大切さや地域産業への理解を深めています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	93.6	93.8					100.0
中学	94.6	95.6					100.0
＜成果指標の達成状況＞ 小中学校とともに基準値を上回っており、目標値に向けて進捗しています。感染症の影響により職場体験活動や外部講師を招いた授業は減少したものの、一人一台端末の活用により多様な職業調べ等、インターネットを活用した調べ学習がさかんに行われ、理解を深められたことによるものと考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容
◆インターネットを活用した調べ学習 各学校のパソコン教室での理科や社会科等の各教科や、総合的な学習の時間等において、積極的に学習をすすめました。また、年度末には一人一台端末が各学校に導入され、児童生徒は自分専用の端末を用いて、インターネットを活用した調べ学習を行いました。 一人一台端末による 調べ学習の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学校におけるキャリア教育の推進 多様な職業について理解を深めるため、インターネットを活用した調べ学習等に取り組みました。職業体験活動や外部講師を招いた授業は、感染症の影響により例年より実施件数が減少しました。
	(2)職業体験機会の充実 おびひろキッズタウンは、子どもたちが職業体験や社会体験にチャレンジし、楽しみながら社会のしくみを考えることで、働くことの意味や楽しさ、お金の価値等を学ぶ機会を提供することを目的としていますが、令和2年度は感染症の流行により実施することができませんでした。 図書館においては、高校生1名のインターンシップ受け入れを行いました。感染症対策のため小学生を対象にした「なりきり図書館員」事業は中止しました。 百年記念館においては、中学生高校生向けのインターンシップとして、博物館での仕事を体験する機会を提供していますが、令和2年度は依頼がありませんでした。 動物園においては、飼育体験等の事業を行ったほか、大学からの依頼により博物館実習やインターンシップを通して、職業体験の機会を提供しました。また、各学校からの依頼による職業調べや講話を通じ、飼育員の仕事について知る機会を提供しました。
課題及び今後の方向性	(1)学校におけるキャリア教育の推進 キャリア教育の充実のため、「おびひろ市民学」において「キャリアパスポート」の視点を取り入れた「おび学ファイル（ポートフォリオ）」を9年間継続して活用し、学んだことを振り返ったうえで新たな学習や生活への意欲の育成に取り組めるよう、指導・助言を継続します。また、積極的にキャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、学校間連携がはかれるよう情報共有をすすめます。
	(2)職業体験機会の充実 おびひろキッズタウンは関係課や参加企業との協力体制を継続し、感染症対策を含めた運営方法や開催時期等の協議を行いながら実施します。 図書館においては、感染症流行の状況に応じて、電話による職場インタビュー等の対応を検討します。 百年記念館においては、地域資料を収集する博物館としての特色を活かしたインターンシップを継続し、地域に根差した職業体験の機会を提供します。 動物園における飼育体験等の事業は、アンケートでの満足度が高いことから、引き続き内容の充実に向けて取り組みます。

個別施策	1-3 情報教育の推進
めざす姿	子どもたちがインターネットに関する基本的なルールを理解し、情報通信機器を正しく活用しています。
施策担当課	学校教育指導課

成果指標の状況							
指標名	授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	87.4	81.0					90.0以上
中学	73.8	79.0					80.0以上
<成果指標の達成状況> 小学校は基準値を下回っており、目標値に向けて進捗していません。中学校は基準値を上回っており、目標値に向けて進捗しています。学校において一人一台端末の導入及び活用が進んでいるものの、授業における明確な位置付けや効果的な活用が十分に進んでいないことによるものと考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容
◆プログラミング教育 プログラミング体験をしながら、コンピュータに意図した処理を行わせるうえで必要となる論理的思考力を身に付けるための学習活動を行いました。 また、一人一台端末を活用したプログラミング教育における中心的な学習についての単元や題材の指導計画を作成しました。



プログラミング教育
研修会の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)情報活用能力の育成 各学校の教育課程編成において、「総合的な学習の時間」に情報を整理・比較し、発信・伝達する力を育成するため、コンピュータ等のICTを活用した学習活動に取り組みました。
	(2)情報モラルの育成 各学校において、「特別活動」「道徳科」及び「総合的な学習の時間」で、情報を活用する上で必要となる知識を身に付けるため、情報が日常生活や社会に与える影響、著作権やプライバシーの保護等について理解を深める学習をすすめるよう教育課程を編成しました。
	(3)プログラミング教育の推進 各学校の授業等において、コンピュータに意図した処理を行うよう指示するプログラム体験を実施する等、プログラミング的思考やICTを活用するために必要な資質・能力の育成に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)情報活用能力の育成 一人一台端末の活用を目指すとともに、実社会において情報がどのように活用されているか理解を深めるため、ICTを活用したスマート農業等、地元企業と連携しICTの活用に関する学習をすすめます。
	(2)情報モラルの育成 一人一台端末の持ち帰りも視野に含めて、インターネットの利用に伴う危険性やフィルタリング機能の活用等について啓発をすすめるとともに、関係機関や事業者、家庭と連携して、情報モラルの育成に取り組みます。また、関係機関と連携し、SNSの正しい利用やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組みます。
	(3)プログラミング教育の推進 一人一台端末を活用し、プログラミング教育を行う単位について、各学校が教育課程へ位置付け、モデル授業や校内実技研修を開催します。

個別施策	1-4 国際理解教育の推進
めざす姿	子どもたちが世界の多様な文化に関心を持ち、外国の人と交流しようとする姿勢を身に付けています。
施策担当課	学校教育指導課

成果指標の状況							
指標名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う子どもの割合(%)						
区分	基準値 【H29～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	66.3	—					75.0 以上
中学	64.4	—					75.0 以上
<成果指標の達成状況> ※全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R2実績値はありません。							

令和2年度の主な取り組みの内容
◆外国語指導講師(ALT)による授業 小学校外国語活動及び外国語科、中学校外国語科の指導の充実をはかり、外国人とのコミュニケーションをとるうえで必要となる基本的な技能を身に付けるための取り組みとして、外国語指導講師を全小中学校に派遣しました。また、授業内で外国語指導講師が、自分の出身国の伝統や文化を紹介することで、国際理解の促進にも繋がりました。



外国語指導講師
による授業の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)外国語を用いたコミュニケーション能力の育成 小学校段階から外国語に親しみ、「読む・書く・聞く・話す」技能をバランスよく身に付けるため、各学年段階のつながりを意識した系統的な指導を行いました。また、発達の段階に応じた指導計画を作成し、外国語指導講師や国際交流員等を効果的に活用し、それぞれの学年に応じた体験的なコミュニケーション活動に取り組みました。
	(2)多様な国の伝統・文化に関する理解の促進 世界の中の日本人として自覚を持ち、世界の民族の多様な言語や文化の違いに気付くことのほか、それぞれの生活・習慣・価値観を理解し協調しながら他国を尊重する態度を育てるために、学校における授業のほか、外国語指導講師や市の国際交流員、JICA 北海道（帯広）の研修員との交流等を通じて、多様な国の伝統・文化に触れる機会の充実をはかりました。
課題及び 今後の方向性	(1)外国語を用いたコミュニケーション能力の育成 児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力向上のため、小学校における外国語専科教員の配置や外国語指導講師を活用した授業に取り組んでおり、今後も外国語指導講師の活用に向けた研修を行い、授業力の向上をはかります。また、外国語指導講師等との触れ合いを通して、「読む・書く・聞く・話す」等、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上をはかります。
	(2)多様な国の伝統・文化に関する理解の促進 多様な国の伝統・文化に関する理解を促進するため、長期休業期間等において、外国語指導講師による外国語のサポート学習に取り組みます。さらに、森の交流館・十勝等、地域の施設や人材を積極的に活用し、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践をすすめます。

個別施策	1-5 南商業高等学校における教育の推進
めざす姿	生徒たちが専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材が育っています。
施策担当課	南商業高等学校

成果指標の状況							
指標名	地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	26.7	15.7					50.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ 基準値を下回っており、目標値に向けて進捗していません。感染症の影響により、学校行事等が中止になり、ボランティア活動の機会が減少したことに起因するものと考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容
◆南商業高等学校におけるキャリア教育の推進 即戦力となる人材育成のため、計画的・組織的・系統的な進路指導や資格取得の支援等を行っています。 1年生の段階から、本校卒業生から就労体験を聞く「先輩訪問」や進路学習を行い、進路実現への意欲を高めるとともに、今何をするべきか、を考える機会としています。2年生は、外部講師を招き、身だしなみや礼儀作法の指導を受けるマナー講演会を開催しました。3年生は、5月に面接基本指導、9月には模擬面接指導、就職試験の解禁に備えて準備を行いました。



全商実務検定3冠以上
取得数全道一

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) 商業教育の充実 商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、卒業までに全国商業実務検定の1級を3種目以上取得した生徒の割合が89.8%と全道の高校の中で取得者数、取得率ともに第1位となりました。なお、感染症流行のため姉妹都市マディソン市への留学生派遣は中止しました。
	(2) 地域経済に貢献する人材の育成 外部講師を招き進路に係る講習会を開いたほか、進路指導や模擬面接等の即戦力となる人材育成をはかり、企業等との連携もすすめた結果、就職・進学ともに内定率100%を達成しました。なお、感染症流行のためインターンシップは中止しました。
	(3) 地域社会との連携・協働による教育の推進 学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動について改善をはかる取り組みをすすめました。
	(4) 地域とつながる活動の推進 感染症流行のため、地域住民に学習機会を提供する学校開放講座は中止としました。また、部活動の実施制限や学校行事等も軒並み中止にしたこと等に伴い、生徒のボランティア活動の機会も減少しました。
課題及び 今後の方向性	(1) 商業教育の充実 引き続き、商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高める指導をすすめます。また、多様な進路に対応した教育課程の編成に取り組みます。なお、国際理解教育については、感染症の状況に応じて安全に交流できる時期を見定め、マディソン市派遣研修実行委員会等と連携して取り組みます。
	(2) 地域経済に貢献する人材の育成 引き続き、外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や模擬面接等の即戦力となる人材育成の充実に取り組みます。
	(3) 地域社会との連携・協働による教育の推進 引き続き、学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動について改善をはかる取り組みをすすめるほか、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入に取り組みます。
	(4) 地域とつながる活動の推進 学校開放講座については、感染症の状況次第では学校に集まり学習する方式での実施が難しいことから、リモートやオンラインでの開催等を検討します。生徒のボランティア活動については、感染症の状況に応じて安全にボランティア活動に参加できる時期を見定めつつ、主催者等と連携して取り組みます。

基本施策2 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

個別施策	2-6 学びを生かす力の育成
めざす姿	子どもたちが意欲的に学び、課題の解決に粘り強く取り組んでいます。
施策担当課	学校教育指導課、教育研究所、図書館、児童会館

成果指標の状況							
指標名	授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H30～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	75.8	71.7					85.0 以上
中学	79.8	75.7					85.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

小中学校ともに基準値を下回っており、目標値に向けて進捗していません。各種学力調査の分析や帯広市教育委員会による作成教材の活用は進んでいるものの、分析結果に基づいた授業改善や各学校での主体的・対話的で深い学びのある授業づくりが十分に進んでいないことによるものと考えられます。

令和2年度の主な取り組みの内容	
◆データベース教材の作成 教職員が子どもと向き合う業務に集中できることや、今後の電子化への一助を目的に、業務支援ソフト「帯広市指導要録ソフト」を作成し、教職員の業務負担を軽減しました。 小学校体育の授業や、家庭で活用できる「主運動につながる体づくり運動」の資料をデータベース化し、閲覧できる成果物を作成しました。	 「主運動につながる 体づくり運動」 起動画面

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学校における授業の工夫・改善 学習の目標を示し、授業の最後に振り返る活動やグループで話し合う活動等、「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業を行いました。
	(2)学習活動の支援 常時ダウンロード可能な小中学生向け教材の教育研究所ホームページへの掲載や、朝の読書や調べ学習等における「ぶっくーる便」の活用のほか、放課後の学習会開催等の学びの機会を提供しました。
	(3)教育課程の工夫・改善 各学校における学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施を支援するため、「教育課程編成の手引き」を作成しました。
	(4)学力の分析・検証 CRT 学力検査の分析結果をまとめた「帯広の子どもの学力」を全小中学校に、参考となる学校の取り組みを集めた「授業改善通信」を全教職員に配付しました。
	(5)体験的・問題解決的学習の推進 学校における授業のほか、児童会館での科学実験・工作、図書館での帯広畜産大学と連携した講習会の開催等、科学や自然に対する興味・関心を高め、科学的なものの見方や考え方を養う体験的な学習をすすめました。
課題及び 今後の方向性	(1)学校における授業の工夫・改善 一人一台端末を活用した授業の推進により、個別最適化された学びや協動的な学びをすすめます。
	(2)学習活動の支援 引き続き、児童生徒が意欲的に学習をすすめられる教材を提供し、一人一台端末で活用できる教材作りに取り組むほか、「ぶっくーる便」については計画的な入替により児童にとって魅力的な図書を提供します。また、感染症の流行による学校の学級閉鎖や臨時休業に備え、オンラインも活用した学びの保障をすすめます。
	(3)教育課程の工夫・改善 目標の実現に必要な教育の内容等を、教科等横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実をすすめます。
	(4)学力の分析・検証 今後、分析・検証の精度を更に高めるために、より検査母数の多い学力検査の提供元を模索する必要があることや、小学校外国語が教科化されたことにより、新しい検証の方法等について検討します。
	(5)体験的・問題解決的学習の推進 図書館では子どもたちが興味を持って意欲的に調べる学習につながるようなテーマを選定するほか、児童会館では学校のニーズを踏まえながら、各種の学習機会を提供します。また、感染症の流行に伴う郷土体験学習や乗り物利用学習の実施制限の可能性を考慮し、オンラインの活用等による実施方法の工夫をすすめます。

個別施策	2-7 豊かな人間性と創造性の育成
めざす姿	子どもたちが互いの価値観を尊重し、多様な人と協力し取り組んでいます。
施策担当課	学校教育課、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	69.7	70.7					85.0 以上
中学	71.1	79.5					85.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ 小中学校ともに基準値を上回っており、目標値に向けて進捗しています。道徳が教科化されたことに伴い、道徳に関する研修や授業公開がさかんに行われ、「考え、議論する道徳」に向けた授業改善が進んでいることによるものと考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容	
◆児童会館における科学展示室での体験 児童会館の科学展示室は、子どもから大人まで科学原理と法則を学びながら、「見て、触れて、ためす」を基本に、①楽しく学び、正しく理解できる「学習性」②新たな発見と驚きのある「体験性」③科学の芽を育み夢が広がる「発展性」をコンセプトにした参加体験型の展示施設です。 十勝の子どもたちに知ってもらいたい5つのテーマ「とかちの自然」「とかちのエネルギー」「とかちと宇宙」「暮らしと科学」「地球のようす館」で、化石発掘体験、太陽光発電、エアロケット、ボールコースター、ジャンボシャボン玉等 25 品目を展示しました。	 科学展示室（ジャンボシャボン玉）の様子
◆動物園における飼育体験 動物園では、飼育員の仕事を体験できる「小学生の1日飼育係」や中学生以上を対象とした「1日飼育係」等を実施しています。 参加者自身の視野や可能性の拡大を目的としており、動物への給餌や清掃作業、参加者同士による動物の解説パネルの共同制作等、動物に関わる仕事への興味や関心の醸成に繋がりました。また、飼育作業だけではなく、地域の野生動物やその生息環境について考えるワークショップや、職員による講話を行い、参加者の満足度が高まるよう内容を工夫して事業を実施しました。	 一日飼育係の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)道徳教育の充実 子どもたちがよりよく生きるための道徳的な判断力、心情、実践意欲及び態度を身に付けることができるよう、道徳に関する研修や授業公開の取り組みを通じて、「考え、議論する道徳」に向けた授業改善をすすめました。
	(2)読書活動の推進 読み聞かせ等の図書ボランティアの協力のほか、蔵書の充実や朝読書の促進を通して子どもたちの読書活動への興味関心の向上に取り組みました。また、おはなし会の開催や、オススメ絵本リストの作成等、学校と図書館が連携した取り組みをすすめました。
	(3)文化芸術活動の推進 子どもたちの感性や創造力を育むため、音楽・図画工作・美術・技術・家庭科の授業等において多様な文化芸術の体験的な学習の充実をはかったほか、感染症の影響により一部中止を余儀なくされましたが、芸術文化に触れる機会を提供するため、子ども向けの鑑賞事業を実施しました。
	(4)体験活動の推進 感染症の影響により一部中止を余儀なくされましたが、地域の特色を生かした体験活動を展開できるよう、各種社会教育施設と連携し飼育体験や科学体験、防災体験や文化芸術体験等の「児童生徒が触れて学ぶ」機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)道徳教育の充実 校内外における教職員向け研修を充実させ、引き続き道徳科の授業改善をすすめるほか、地域人材やゲストティーチャーの活用、他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性を育てる取り組みをすすめます。
	(2)読書活動の推進 電子書籍の活用促進等による多様な読書機会の確保のほか、図書ボランティアや司書教諭及び関係部署との連携促進を通し、読書活動の活性化をはかります。また、将来の担い手として、「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成します。
	(3)文化芸術活動の推進 子どもたちの文化芸術活動の促進に向け、ＩＣＴを活用した演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会の提供や、各学校の学習発表会や文化祭の様子の発信等の取り組みを通し、感染症対策を講じながら子どもたちの情操教育をすすめます。
	(4)体験活動の推進 感染症の流行に伴い活動に制約がありますが、感染症対策を講じたうえで各種社会教育施設と連携し、空間的・時間的な工夫を通じて、子どもたちに豊かな体験活動機会の提供に取り組みます。

個別施策	2-8 健やかな体の育成
めざす姿	子どもたちが運動に親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。
施策担当課	企画総務課、学校教育課、学校給食センター、学校教育指導課、図書館、スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	朝食を毎日食べている子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	94.0	91.0					100.0
中学	93.6	94.0					100.0
<成果指標の達成状況> 小学校は基準値を下回っており、目標値に向けて進捗していません。中学校は基準値を上回っており、目標値に向けて進捗しています。食に関する啓発資料等の配布や、食育指導専門員等を各学校へ派遣し、給食指導の支援や食に関する指導が進んでいるものの、望ましい食生活習慣に係る家庭との連携が十分ではないことによるものと考えられます。							
指標名	1週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H26～H30 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	88.5	—					95.0 以上
中学	85.9	—					90.0 以上
<成果指標の達成状況> 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)が行われなかったため、R2実績値はありません。							

令和2年度の主な取り組みの内容	
◆食育の推進 地元の新鮮で安全・安心な食材を活用し、児童生徒への栄養バランスを考慮した学校給食を提供したほか、食物アレルギーを持つ児童生徒に対して詳細なアレルギー情報のお知らせと合わせて、除去食（乳・卵）の提供を行いました。児童生徒が「食」に関する正しい知識と「食」を選択する力の習得をはかることを目的として、「食育通信」等の配布を行いました。	 給食の風景
◆学校保健特別対策事業 感染症の流行に伴い、感染リスクを最小限にしたうえでの十分な教育活動の継続が必要となりました。感染症対策や熱中症対策を徹底しながら学校における児童生徒の学びを保障するため、蛇口レバー等をはじめとした必要な物品の購入等により、学習環境の整備を行いました。	 感染症対策の物品

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)体力・運動能力の向上 各学校において、過去の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を検証し、授業や生活習慣の改善に取り組みました。また、感染症の流行により体育系部活動の全道大会はほぼ中止となりました。
	(2)安全・安心な学校給食の提供 地元の農業関係者等と連携し、安全・安心な地場産食材の活用促進をはかったほか、アレルギーを持つ児童生徒が安心して給食時間を過ごせるよう、学校給食食物アレルギー対応マニュアルに基づいた取り組みを行いました。
	(3)正しい「食」への理解の推進 「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」のもと、栄養教諭や食育指導専門員を各学校へ派遣し、給食指導の支援や食に関する指導を行ったほか、「食育通信」の配布等により、児童生徒の食に関する正しい知識の取得と、望ましい食習慣の形成をはかりました。また、図書館常設の食文化コーナーにて月毎にテーマと図書を入れ替え、食に関する様々な図書を展示しました。
	(4)健康教育・健康保持 子どもたちの健康の保持増進のため、各学校において関係団体と連携し学校保健委員会の設置をすすめたほか、家庭や関係機関との連携をはかりながら学校の教育活動全体を通じて、がん教育や体育・健康に関する指導をすすめました。また、感染症対策を徹底するため、必要な物品の購入等による学習環境の整備を行いました。
課題及び 今後の方向性	(1)体力・運動能力の向上 体力向上推進プロジェクトチームによる研修会の開催及び各学校への派遣指導を通じて授業改善をはかるとともに、子どもたちの体力・運動能力の分析・検証を通し、取り組みの改善をすすめます。
	(2)安全・安心な学校給食の提供 更なる地場産食材の活用をすすめるほか、引き続き適切な栄養バランスを考慮した学校給食の提供による児童生徒の健全な心身の発達をはかります。また、食物アレルギーを持つ児童生徒は増加傾向にあることから、引き続きアレルギー情報及び除去食の提供を行い、学校給食における食物アレルギー事故防止に向けて取り組みます。
	(3)正しい「食」への理解の推進 「食育通信」等資料の配布を通して、家庭と連携して子どもたちが「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、栄養や食事の摂り方等について、正しい知識に基づいて自ら判断し、健全な食生活を実践できる資質・能力の育成をすすめます。図書館では食育月間に合わせて、食をテーマにした映画会・おはなし会を開催します。
	(4)健康教育・健康保持 学校保健委員会の設置率向上に向けた取り組みを引き続きすすめるほか、LGBTs等、子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値を尊重し相手を思いやる心を醸成できるよう、発達の段階に応じた教育をすすめます。また、各学校において感染症対策の取り組みを継続します。

個別施策	2-9 教員の資質・能力の向上
めざす姿	教員が子どもたちと向き合い、子どもたちの力を引き出す指導が行われています。
施策担当課	学校教育課、学校教育指導課、教育研究所、スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	授業の内容がよくわかると思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	82.6	83.1					90.0 以上
中学	74.8	71.2					80.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ 小学校は基準値を上回っており、目標値に向けて進捗しています。中学校は基準値を下回っており、目標値に向けて進捗していません。指導主事による学校教育指導訪問、学校管理職や教職員の指導力や資質能力の更なる育成・向上を目指した研修等が行われたものの、感染症の影響により内容等の変更や縮小、中止等で教職員への授業改善に係る研修が十分行えなかったことによるものと考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容
◆教職員研修の実施 学校管理職の資質能力の更なる育成・向上を目指した「新しい時代に対応する学校管理職マネジメント研修」を、兵庫教育大学教育政策リーダーコース教授 日渡 円 氏を講師に迎え、帯広市教育研究所にて7月15～17日の日程で実施しました。 学校管理職に求められるマネジメントに係る資質能力である情報収集、分析、構想、企画、実行、判断の6つについての演習を中心とした研修を行いました。



ONE-UP 講座の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)教員の指導力の向上 指導主事による学校教育指導訪問において、管理職や教職員に指導・助言を行いました。教職員向けの研修は、感染症の流行に伴い夏季の研修を中止し、冬季の研修のみ開催しました。
	(2)教職員の働き方改革の推進 教職員の勤務状況の改善等に向けて、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン」に基づき、学校閉庁日や部活動休養日の設定等の取り組みをすすめたほか、令和2年8月にICカードを利用した勤務時間管理システムを導入しました。また、各小中学校の校務系ネットワークについて、一括管理による維持管理の効率化のため、集約化を行いました。教職員向けの研修については、感染症の対策を踏まえ、オンラインの活用等により非対面で開催しました。
課題及び 今後の方向性	(1)教員の指導力の向上 例年、学力向上推進プロジェクトチームによる学級経営・授業改善ワンポイント講座を実施していましたが、令和2年度は感染症の流行により中止としました。初任段階教員が増加していることや「主体的・対話的で深い学び」による授業改善が求められていることから、オンラインの活用等により学級経営・授業改善ワンポイント講座を実施します。教職員向けの研修については、今後も積極的な受講や参加を呼びかけるほか、一人一台端末の活用や今日的な課題を取り上げる等、教職員の技能や指導力向上に繋がる講座を企画します。
	(2)教職員の働き方改革の推進 教職員の時間外在校等時間は減少傾向にありますが、更なる縮減が必要であることから、引き続き「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン」に基づく取り組みをすすめていくほか、教職員の業務効率化のため、校務支援システムの導入について検討します。また、教職員向けの研修については、感染症の収束目処がまだ立たないことや教職員の負担軽減が求められていることから、オンラインの活用や対面方式での実施等、置かれた状況次第で柔軟に対応できる体制作りを目指します。

基本施策3 地域とともに育む教育の推進

個別施策	3-10 地域との連携・協働の推進
めざす姿	地域の人たちが子どもたちの教育に積極的にに関わり、健やかな成長を支えています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課、生涯学習文化課

成果指標の状況							
指標名	地域の行事に参加している子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	58.2	50.4					70.0 以上
中学	35.2	34.3					50.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ 小中学校ともに基準値を下回っており、目標値に向けて進捗していません。コミュニティ・スクールの導入は計画的に進んでいるものの、感染症の影響による地域の行事の中止等によるものと考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容	
◆コミュニティ・スクールの導入 コミュニティ・スクールでは、保護者や地域の代表者で構成する学校運営協議会を設置し、校長が作成する学校運営の基本的な方針を承認するほか、地域でどのような子どもを育てていくのかを協議し、目標を共有した上で、学校・家庭・地域が協働しながら子どもの健全な育成を目指します。 令和元年度に8校で導入したコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、令和2年度は新たに4校で導入しました。	 学校運営方針説明の様子
◆子どもの居場所づくり事業の実施 全小学校において、放課後や週末等に特別教室・体育館等を利用して、地域の大人やNPO 法人等のボランティアスタッフが企画運営を行い、工作、季節行事等の体験活動や、自由な遊びを行う放課後子ども広場を実施しています。 令和2年度は、実施回数 169 回、延べ 1,925 名の児童が参加しました。感染症の流行に伴い、活動回数や参加児童数の制限等を行ったため、例年より実施回数、参加人数ともに減少していますが、異世代交流、多様な体験活動を通して、児童の豊かな人間性や社会性を養うため、活動を続けています。また、同事業に参加するボランティアスタッフに対し、子どもへの接し方や指導技術の向上をはかるため、ボランティア養成講座を開催しました。	 放課後子ども広場の様子 (ぬりえ教室)

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)地域における支援体制の充実 コミュニティ・スクールを新たに4校で導入したほか、説明会の開催やコミュニティ・スクール通信の発行、指導主事の学校教育指導訪問時にコミュニティ・スクール導入による目指す子ども像の共有や他校の好事例の紹介等の取り組みを行いました。また、学校・家庭・地域が一体となった活動の促進や人材育成のため、帯広市学校・家庭・地域協働会議や地域コーディネーター向けの研修会を開催したほか、こども学校応援地域基金を活用して団体同士の連携した活動への支援を行いました。
	(2)子どもの安全対策の充実 登下校時の見守り活動を全小中学校で実施したほか、災害情報や不審者情報だけでなく感染症に関わる情報提供を行うため、「帯広市子供安全ネットワーク」を活用した保護者への速やかな情報発信に取り組みました。また、庁内外の関係機関と連携して通学路危険箇所の点検を行い、点検結果を公表し安全対策について関係機関へ依頼したほか、登下校時にその身に危険が迫った場合等に逃げ込む「子ども110番の家」を1,017箇所に設置しました。
	(3)地域主体の体験活動への支援 子どもの居場所づくり事業において、感染症対策を行いながら、異世代交流や多様な体験活動を通して、豊かな人間性や社会性の涵養に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)地域における支援体制の充実 学校・家庭・地域の連携・協働による「地域とともにある学校づくり」をすすめるため、令和4年度中に全校でコミュニティ・スクールを導入するほか、目指す子ども像を実現するため、指導主事による学校教育指導訪問時に取り組み状況に応じた全国の好事例の情報提供をすすめます。また、感染症対策を講じたうえで、学校と地域との連携した活動や地域コーディネーターの研修等に取り組むほか、こども学校応援地域基金を活用した支援を周知し、ボランティア団体同士の連携した活動の拡大をはかります。
	(2)子どもの安全対策の充実 活動団体の担い手確保を継続し、地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、保護者がいち早く災害情報や不審者情報を得られるよう、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知をすすめます。通学路の安全確保については、引き続き担当部署や関係機関と情報の共有をはかり、必要に応じて危険箇所の合同点検を実施しながら対策を検討するほか、登録者の確保により「子ども110番の家」事業の拡充をはかります。
	(3)地域主体の体験活動への支援 子どもの居場所づくり事業は、感染症の流行に伴い事業を担うボランティア登録者数や実施回数及び参加児童数が減少しており、実施方法やPR活動を工夫し事業を継続します。青少年育成団体の各事業においては、感染症対策を講じたうえで子どもたちが魅力を感じられるよう取り組みます。

個別施策	3-11 家庭教育への支援
めざす姿	各家庭において、子どもたちが規則正しい生活習慣や社会的なマナーを身につける教育が行われています。
施策担当課	学校給食センター、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館

成果指標の状況							
指標名	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	77.8	73.2					85.0 以上
中学	76.6	77.8					85.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ 小学校は基準値を下回っており、目標値に向けて進捗していません。中学校は基準値を上回っており、目標値に向けて進捗しています。定期的に学校へ家庭訪問相談員を配置したものの、感染症の影響や臨時休業により配置日数が少なくなったこと等によるものと考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容
◆年齢別ブックリストの配布 絵本を通して親子がふれあう機会を提供するため、絵本との出会い事業として、5か月児検診を受診する親子に絵本と0～1歳児向けオススメ絵本リストを配布したほか、1歳6か月児検診と3歳児検診時には、本を選ぶ際の参考となるよう、それぞれ2～3歳児向け、4～5歳児向けのオススメ絵本リストを配布しました。 また、新小学1年生に対して、本に親しみ読書を楽しむきっかけとなるよう学校を通して、ブックリスト「この本にチャレンジ」を配布しました。



各種ブックリスト

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)教育相談の充実 子どもの進路や友人関係のほか、いじめや不登校等の子どもの教育に関する悩みについての相談に対応するため、家庭訪問相談員を配置しました。
	(2)家庭教育力向上のための支援 学校においては、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、起床や食事の摂取状況を家庭において記録するためシートを配布し、学校で確認し家庭への助言を行いました。 家庭に向けては、家庭教育学級において親自身の成長に役立つ学びを提供したほか、「食育通信」の配布等を通じて、児童生徒の家庭における食に関する正しい知識の取得と望ましい食習慣の形成をはかりました。また、妊娠期からのおはなし会への参加の呼びかけや、乳幼児健診におけるブックリストの配布により、保護者への啓発活動をすすめたほか、家庭における日常的な読書習慣の普及促進を目的に「家読」に取り組みました。
	(3)PTAとの連携の促進 家庭における教育力を高め、学校と家庭が連携して子どもたちの健やかな成長を育むため、学校とPTAの間での情報交換を行ったほか、帯広市PTA連合会への補助金の支出やPTAによる各種事業の後援等、PTA活動への支援を行いました。
課題及び 今後の方向性	(1)教育相談の充実 教育相談員体制のさらなる充実と、より有効な教育相談員の活用をはかるため、配置日数の調整等の工夫をすすめます。
	(2)家庭教育力向上のための支援 学校においては、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、「おびひろ市民学」を中核として食育や消費者教育、人権教育等様々な視点から啓発をすすめます。 また家庭に向けて、家庭教育学級の実施、「食育通信」の配布、図書館における絵本セットの内容の充実をはかる等、子育て世帯の支援をすすめます。
	(3)PTAとの連携の促進 家庭における教育力を高めるため、各校のPTAや帯広市PTA連合会等との情報交換をすすめるほか、関係団体への行政支援を継続し連携を深めます。

個別施策	3-12 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進
めざす姿	学校間の連携により、子どもの個性を理解し尊重した指導が継続的に行われています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課

成果指標の状況							
指標名	小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	19.2	19.2					100.0
中学	21.4	21.4					100.0

＜成果指標の達成状況＞

小中学校とともに基準値と同数値であり、目標値に向けて進捗していません。学びのつながりを意識した教育課程の編成をすすめたものの、感染症の影響により乗り入れ授業等が十分にできなかったことによるものと考えられます。

令和2年度の主な取り組みの内容
◆小中一貫教育の推進 子どもたちが、新しい環境における学習や生活に不安を持つことなくスムーズに適応していくためには、幼保・小・中のスムーズな接続を意識し、子どもたちにより連続的・系統的な学びを保障していくことが大切であると考えます。本市では、「帯広市エリア・ファミリー構想」の取り組みを基盤として、ファミリーサミット等により幼児期から小学校、中学校段階に至るまでの校種間交流の促進に取り組み、一貫した教育の充実をはかる小中一貫教育をすすめました。 小中学生のエリア代表者による話し合い（ファミリーサミット）

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学校間の連携の推進 幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校において、それぞれ行われている教育への理解を深めるため、職員間交流を通じた情報共有を充実したほか、学びのつながりを意識した教育課程の編成をすすめました。また、「帯広市小中一貫教育推進基本方針」に基づき、義務教育9年間を見通した教育課程を編成し、小中学校の接続を意識した学習指導をすすめました。
	(2)通学区域の見直しの実施 通学区域が宅地の造成等に合わせた適正な設定とされているか確認を行ったほか、「帯広市小中学校適正規模の確保等に関する計画」に基づく取り組みと併せて、通学区域の整理及び検討を行いました。 令和4年4月1日開校の大空学園義務教育学校において、前期課程及び後期課程が同一敷地内に設置されることから、大空小学校並びに大空中学校区域を基に通学区域の見直しのための準備作業を行いました。
課題及び今後の方向性	(1)学校間の連携の推進 小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び整備をすすめます。また、幼保・小・中における教育実践への相互理解を深められるよう、各エリア内における授業交流や乗り入れ授業をすすめるとともに、小中教員による部会を設定し、教育実践の交流や教育課題の共有をはかる等、より詳細な情報共有が可能な取り組みをすすめます。
	(2)通学区域の見直しの実施 小中学校の連携や地域ぐるみの教育を一層推進するため、学校の適正規模の確保に関する取り組みと合わせ、通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性、一つの小学校から複数の中学校に分かれる分散進学の解消等に配慮し、通学区域の見直しをすすめます。

基本施策４ 安全・安心な教育環境の整備

個別施策	４－１３ 誰もが安心して学べる教育の推進
めざす姿	障害の有無や家庭の経済状況等に関わらず、誰もが安心して学んでいます。
施策担当課	企画総務課、学校地域連携課、学校教育課、学校教育指導課、教育研究所

成果指標の状況							
指標名	「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学	96.2	97.5					100.0
中学	94.2	96.8					100.0
<成果指標の達成状況> 小中学校ともに基準値を上回っており、目標値に向けて進捗しています。道徳等の学習を通じて、いじめや人権について子どもたち同士で考え議論する場を設けたり、非行防止活動等を実施したことによるものと考えられます。							

令和２年度の主な取り組みの内容	
◆経済的支援等の実施 高校や大学等への進学機会を確保するため、感染症の影響による保護者の収入減等、経済的理由により就学が困難な学生への修学資金の支援に取り組んだほか、アイヌ子弟の遠隔地での就学支援のため、扶助費を支給しました。 また、経済的な理由により児童生徒の就学が困難な保護者へ、学用品費等の就学援助費の支給を行ったほか、国の令和２年度要保護児童生徒援助費補助金の単価改定にあわせて支給額を改定しました。	 
◆特別支援教育の充実 特別な配慮を要する児童生徒の成長に合った適切な就学をはかるため、特別支援教育の専門家で構成された帯広市教育支援委員会において、就学先を決定するための教育相談を、４５６件実施しました。 また、介助が必要な児童生徒のために３１人の生活介助員を配置したほか、発達障害等の理由により、学校生活に困り感を抱える児童生徒を支援するため、６１人の特別支援教育補助員を配置しました。	 特別支援学級の授業の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)いじめ・非行の防止 子どもたちがいじめを自分自身の問題として、より深く考えることができるよう、道徳等の学習を通じて、いじめや人権について皆で考え議論する場を設けたほか、地域の指導協力員と街頭巡回指導等を通じた非行防止活動を実施しました。
	(2)不登校への対応 不登校傾向の子どもに対して家庭訪問相談員等と連携し、子どもや保護者からの相談対応や助言等を行いました。また、子どもの自立や学校生活への復帰を支援するため適応指導教室の運営、教育相談、個別学習やグループ活動等に取り組みました。
	(3)教育機会の確保 経済的な理由により児童生徒の就学が困難な保護者へ就学援助費の支給による負担軽減を行ったほか、大学生等への給付金による支援を行いました。また、農村地域で遠距離通学となる児童生徒向けにスクールバスを運行しました。
	(4)一人ひとりに応じた教育の充実 個別の指導計画及び教育支援計画の作成、関係機関・保護者との情報共有や特別支援教育に係る教員の知識・技能の習得をすすめたほか、特別支援学級の設置やアイヌ子弟の遠隔地での就学支援のため扶助費の支給等により、支援や配慮が必要な子どもたちの学びの環境整備に取り組みました。また、豊かな自然環境の中で特色ある教育活動を行う農村地域の小規模校に就学できる特認校制度の運用をすすめました。
課題及び 今後の方向性	(1)いじめ・非行の防止 いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学ぶことができる環境の整備をすすめるほか、街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組みます。
	(2)不登校への対応 家庭や児童生徒の心の揺れや悩みの複雑化、原因の多様化がみられるため、教育相談員の専門性の向上をはかる研修、個々に応じた相談体制の充実をすすめます。
	(3)教育機会の確保 国、道や他市町村の動向も踏まえながら、就学援助や奨学金等の制度の適切な運営を通じ、就学や通学に関わる経済的な支援をすすめます。また、スクールバスの安定的な運用のため、車両更新や運転手の確保について検討するほか、市内高校の間口を維持・確保するため、本市及び帯広市 PTA 連合会等で構成する「帯広市高等学校間口対策協議会」を通して、情報収集や要望活動を行います。
	(4)一人ひとりに応じた教育の充実 障害や学習において困り感を抱えた子どもたちが、一人ひとりの特性や状況にあった環境で教育を受けられるよう、教育相談体制の充実をはかるとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備をすすめます。また、教職員向けの研修により、今日的な課題である LGBT s やヤングケアラー等の理解促進の取り組みをすすめるほか、学校や地域とも連携しながら、豊かな自然環境の中で特色ある教育活動をすすめます。

個別施策	4-14 安全で充実した教育環境の整備
めざす姿	安全で機能的な学校施設の整備など、良好な教育環境のもとで、子どもたちが充実した学校生活を送っています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育課、南商業高等学校

成果指標の状況							
指標名	長寿命化改修の実施校数（校）						
区分	基準値 【H30】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	0	0					9
＜成果指標の達成状況＞ 基準値と同数値であり、目標値に向けて進捗していません。令和2年度は、長寿命化改修の実施対象校がなかったことによるものです。							

令和2年度の主な取り組みの内容
◆一人一台端末の整備 ICTを活用した教育の推進をはかるため、国が掲げるGIGAスクール構想を踏まえ、児童生徒一人に一台のタブレット型端末（児童生徒用台数：12,002台、教職員用台数：733台）の導入をはじめ、校内無線LAN（40校）等の整備及び端末導入に向けたマニュアル作成や教職員に対する操作研修等の事前準備を実施しました。  タブレット端末を活用した授業
◆大空学園義務教育学校の整備 大空小学校と大空中学校を統合した施設一体型義務教育学校の整備のため、令和2年度から令和3年度にかけて既存校舎・体育館の長寿命化改修及び増築を実施しています。令和2年度には新職員室など既存校舎の一部の改修を行ったほか、増築棟の基礎の施工を行いました。  大空学園義務教育学校の工事 (増築棟1F工事)

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) 学校施設の整備 小中学校においては、大空学園義務教育学校一期工事の着手、煙突用断熱材除去（小学校2校）、ボイラー改修（中学校2校）、トイレ大規模改修（小学校1校）、トイレ洋式化（小中計98基）、保健室エアコン整備（小学校23校、中学校13校）、校舎廊下等網戸整備（小中計622校）のほか、個別改修を行いました。 南商業高等学校においては、屋内体育館の結露発生防止のため換気設備を新設したほか、校舎廊下網戸整備（37校）を行いました。 また、GIGAスクール構想の実現に向けて、小中学校及び南商業高等学校で校内通信ネットワークの整備を行いました。
	(2) 学習環境の整備 児童生徒の一人一台端末や普通教室等への大型提示装置の導入等、GIGAスクール構想を踏まえてICT機器を活用した学習環境の整備をすすめました。
	(3) 学校適正規模確保の推進 学校・保護者・地域・教育委員会で構成される大空地区義務教育学校準備協議会を開催し、新校の開校に向けて校歌、校章等について協議を行いました。
課題及び今後の方向性	(1) 学校施設の整備 計画的かつ継続的な修繕により、学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善を行い、教育環境の整備をすすめます。
	(2) 学習環境の整備 小中学校においては、学校生活等における一人一台端末の活用範囲を拡大しながら、情報活用能力の習熟等を通じて児童生徒が主体的に学び、自ら問題を発見し解決できる力の育成をはかります。 南商業高等学校においては、引き続き簿記、情報処理等の商業に関する専門教育の実施や高度な資格取得に寄与するため、第一情報処理室等の情報機器の整備をすすめます。
	(3) 学校適正規模確保の推進 児童生徒数及び学級数を毎年度推計し、その結果を市民へ情報提供します。また、「前期対象校」である大空中学校の具体的な取り組みを着実にすすめ、対象校以外の学校についても、学校の小規模化による影響の緩和をはかるほか、令和4年度の児童生徒数及び学級数の推計を基に「後期対象校」を選定し、適正規模の確保等に関する取り組みをすすめます。

(2) 基本目標 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり

基本施策5 自ら学びともに支える生涯学習の推進

個別施策	5-15 学習活動の促進
めざす姿	誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	講座の満足度 (%)						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	95.5	96.9					100.0

＜成果指標の達成状況＞

基準値を上回っており、目標値に向けて進捗しています。受講者アンケートを反映し、オンライン配信を行うなど各種講座の改善等をすすめたことによるものと考えられます。

令和2年度の主な取り組みの内容
◆動物園魅力UPムービー2020 の作成 おびひろ動物園の魅力を発信するため、飼育動物や園内の風景に加え、飼育員による担当動物の解説や見どころ等を伝えるプロモーション動画を制作しました。制作にあたっては、来園者から募集した写真や動画を活用し、来園者とともにPRするコンセプトとしました。 制作した動画は公式ホームページでの公開や、これまで園内で開催していた写真展の作品とともに動画を紹介する「フォト＆ムービー展」を、帯広市図書館等市内5カ所の施設で巡回展示を行いました。



フォト＆ムービー展の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学習機会や情報の提供 市民大学講座等の生涯学習に関わる各種講座は、感染症の影響により一部延期・中止を余儀なくされましたが、定員を限定した開催や、オンライン開催等の感染症対策を行いながら学習機会の確保に向け取り組んだほか、生涯学習情報誌「まなびや」、及び小学生向けの「まなびや特別号」を発行しました。 公立図書館として100周年を迎えた図書館では、当時の図書館日誌等の地域資料を活用した「100年に一度の秘蔵展」を開催したほか、百年記念館では、特別企画展や収蔵美術作品展を開催し、博物資料や美術資料について観覧する機会を提供しました。また、常設展示室のビデオコーナーを更新し、「第1回帯広氷まつり」ほか1件の動画を閲覧できるようにしました。 動物園では、遠方で来園が困難な方や、閉園中の動物の様子を広く周知するため、SNSを活用し積極的に情報発信を行ったほか、動物園の魅力を伝えるプロモーションビデオを制作し、ホームページや市内5カ所の施設で巡回展示を行いました。
課題及び今後の方向性	(1)学習機会や情報の提供 市民大学講座については、市民ニーズを踏まえた講座テーマの設定、オンライン配信や開催時間の工夫などにより、市民が参加しやすい学習機会を設けるほか、生涯学習情報誌「まなびや」により広く情報を提供します。 図書館では、収集した資料から既存のデータベースや目録等を活かして、必要な情報を引き出しやすい仕組みづくりの検討をすすめます。 百年記念館では、感染対策を踏まえた事業のありかたを検討しながら、博物館ならではの講座の開催、展示の企画をすすめます。 動物園では、オンラインでの講座実施等の事業が利用者のニーズに沿ったものとするため、従来の取り組みを継続しつつ、効果的な事業となるよう取り組みます。

個別施策	5-16 学習を通じたまちづくり
めざす姿	学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	26.3	21.5					31.0以上
＜成果指標の達成状況＞ 基準値を下回っており、目標値に向けて進捗していません。感染症の影響により、事業の中止や開催規模が縮小したことで、市民の自主的な活動が減少していることが要因と考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容	
◆生涯学習指導者登録制度 生涯学習指導者登録制度とは、趣味、教養、芸術、文化、スポーツ等の様々な分野で活躍している個人または団体を「帯広市生涯学習指導者」として登録し、地域における学習活動（講演会やイベント等）を支援する制度です。ご登録いただいた情報は、2年に1度、更新・確認作業を行い、市ホームページを通して提供しています。令和2年度の登録者数は195人となり、地域の人材の発掘及び情報提供ができました。	 生涯学習指導者登録制度 (市ホームページより)
令和2年度の主な取り組みの内容	
◆百年記念館におけるボランティアによる活動 百年記念館では、27名の博物館ボランティアが、小学校向けの展示解説や、レコードやマッチ等の収蔵資料の整理、体験教室での指導や展示会受付を行っています。学習成果を活用したボランティアの取り組みは、博物館活動を充実させ、地域住民と博物館をつなぐ役割を果たしています。 こうした活動の成果として、音の博物館「レコードコンサート」やロビー展「マッチ箱展」等の自主事業を開催しました。	 マッチ箱展準備の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)自主的な学習活動の支援 図書館では、読み聞かせの技術向上のための語り手育成講習会を開催し、帯広図書館友の会の活動を支援しました。 百年記念館では、資料整理をはじめとした博物館で活動をする中で得た知識や経験をもとに、ボランティアの自主性を促しながら、音の博物館「レコードコンサート」やロビー展「マッチ箱展」等を企画・開催しました。 動物園では、学生ボランティアとの連携をはかり、来園者と動物とのふれあいのサポート等、活動機会を提供しました。 生涯学習推進委員会が行うコミュニティ講座は、感染症の影響により、規模の縮小や対策を徹底したうえで活動しました。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度では、教養・文化・スポーツ等の様々な分野において個々の能力を発揮して活躍する方を指導者として登録し、地域における生涯学習活動の支援のために情報を提供しました。
課題及び今後の方向性	(1)自主的な学習活動の支援 図書館では、帯広図書館友の会の役員と情報交換しながら、活動に対する相談やアドバイスをを行い、相互に連携を深めます。 百年記念館では、ボランティアの知識向上のために研修会等学習の機会を設け、学習で得た知識を生かした新たな活動の場を今後も提供していくほか、養成講座を隔年で実施し、ボランティア活動を行う人員の充実に向けて取り組みます。 動物園では、ボランティアを行う学生等の活動主体が、創意工夫しながら自主的に活動できるよう、相談やアドバイス等により支援します。 また、感染症対策を考慮しながら生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う多様な活動の支援を継続します。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、利活用をはかるため、市ホームページやSNSを効果的に活用し、情報発信の強化に取り組みます。

個別施策	5-17 社会教育施設の整備・管理運営
めざす姿	社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	96.5	97.3					100
＜成果指標の達成状況＞ 基準値を上回っており、目標値に向けて進捗しています。計画的な修繕や利用者の声を反映し、施設サービスの改善をすすめたことによるものと考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容	
◆とかちプラザの施設整備 とかちプラザは、生涯学習活動や定住交流促進、地域産業の振興に寄与する施設として、多くの方に利用されています。開館から25年が経過し、安全性・緊急性を考慮しながら計画的な設備改修を行う必要があります。主な取り組みとして、とかちプラザでは冷暖房用空調機コントローラ（2基）の修繕や給湯用ボイラー、高圧受電盤の更新を行いました。	 更新後のとかちプラザ 給湯用ボイラー

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 老朽化が進んでいるとかちプラザ等の社会教育施設について、市民の利便性向上と安全性確保のため、修繕や設備の更新を実施しました。 図書館では、トップライトのシーリングの張替えの修繕や排煙窓の開閉に係る装置の更新を実施しました。 百年記念館では、パッケージエアコン更新工事等を実施しました。 児童会館では、プラネタリウム暖房機取替修繕、自家発電設備蓄電池取替修繕等を実施しました。
	(2)適切な管理運営の推進 感染症の影響により施設を一時休館したほか、延期・中止を余儀なくされた事業もありますが、少人数制での講座の開催やオンライン配信による講座やコンサートの開催を行う等、新たな手法による学習機会を提供しました。 図書館及び動物園にフリーWi-Fiを整備し、児童会館ではプラネタリウムの新番組を導入したほか、図書館警備員の複数配置時間や清掃箇所の見直し等、施設の利便性や魅力の向上をはかりました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 社会教育施設は、生涯学習活動の拠点施設として多くの市民に利用されておりますが、多くの施設が供用開始から長い年月が経過し、施設本体や設備、備品の老朽化がすすんでいます。 今後は、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、優先順位を勘案しながら、公共施設マネジメント計画に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 とかちプラザでは、感染症の影響により、施設利用者数・利用料金収入の増加が見込みにくい状況となっていますが、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスを継続します。 図書館では、施設管理のなかで類似的な業務について、包括的な管理委託が可能か検討します。 百年記念館では、施設の設置目的に即しつつ、利用者ニーズを念頭に置き、利便性の向上をはかるほか、効果性・効率性にも配慮して管理運営をすすめます。 動物園では、地域に根差した魅力ある動物園と感じられる取り組みをすすめます。 児童会館では、感染症対策を行いながら、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催していくほか、学びと遊びの機能の充実に取り組みます。

基本施策6 人が輝く文化芸術活動の推進

個別施策	6-18 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働
めざす姿	文化芸術活動を通じて、心の豊かさや生きがい、人とのつながりが生まれています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館

成果指標の状況							
指標名	直近1年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	64.7	45.1					65.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ 基準値を下回っており、目標値に向けて進捗していません。感染症の拡大に伴う施設休館や事業の中止、感染症対策による市民の外出自粛の影響によるものと考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容	
◆市民文芸誌の発刊 「市民文芸」は、地域に根ざした独自の文化の創造と発展を目指し、昭和36年に創刊された文芸誌です。 十勝管内在住者を対象に文芸作品（小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、ノンフィクション、童話、詩、短歌、俳句、川柳）を募集し、令和2年度には応募作品数1,181点の中から優秀な作品を掲載したほか、十勝に住む実力ある作家の作品を特集として、第60号を発刊しました。	 市民文芸 第60号

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)市民文化芸術活動の促進 市民主体の文化芸術活動を促進するため、複数ジャンルの地元作家による展覧会「北の構図展」を開催したほか、積極的に創作活動に励む子どもたちが、将来「市民文藝」への応募に続くよう、とかちジュニア文芸第11号を発刊しました。 また、市民の文化芸術活動を支援するため、学校施設の開放事業を行いました。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 市民が芸術文化活動に参加しやすい環境やきっかけづくりのため、ホームページ等を活用し、文化団体の情報提供を行いました。また、文化活動を行う人材・団体の育成のため、文化賞、文化奨励賞、文化活動功労賞に、優秀な文化芸術活動を行う2個人・3団体を表彰したほか、文化団体への活動支援として事業補助を行いました。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 感染症の影響により、多くの事業で開催中止を余儀なくされましたが、市民に良質な文化芸術鑑賞機会を提供するため、感染状況を考慮しながら鑑賞事業を実施しました。 また、北海道立帯広美術館の特別企画展「蜷川実花展 虚構と現実の間に」に参画し、市民に芸術の鑑賞機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)市民文化芸術活動の促進 感染症の影響により、市民の活動の成果を発表する機会が減少しており、感染状況を踏まえた実施方法の検討を行いながら、市民に発表の機会や交流の場を提供する事業の実施を継続するほか、とかちジュニア文芸文章教室を開催し、子どもたちの創作意欲をさらに高め、読解力・表現力の向上をはかります。 また、市民の文化芸術活動を支援するため、学校施設の開放事業を継続します。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 感染症の影響により、文化的活動が自粛傾向にありますが、文化活動促進のツールのひとつとして文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行います。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 市民の文化芸術への関心を高めるため、感染症対策を踏まえた実施手法を検討しながら、市民が文化芸術に直接触れる機会を提供する事業を実施します。 また、市民に芸術の鑑賞機会を提供できるよう、北海道立帯広美術館の特別企画展への参画を継続します。

個別施策	6-19 文化資源の継承・活用
めざす姿	歴史、伝統、文化への理解を通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持っています。
施策担当課	百年記念館

成果指標の状況							
指標名	市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数（件）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	2,161	1,728					2,269 以上
＜成果指標の達成状況＞ 基準値を下回っており、目標値に向けて進捗していません。感染症の流行に伴う市民の外出自粛等により、文化財・史跡等への訪問機会の減少が影響したものと考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容
◆文化の継承・活用事業及びアイヌ文化関連事業 文化財等の適切な管理を行うため、十勝鉄道蒸気機関車・客車をはじめ十勝監獄石油庫等、5件の保守・点検等を行ったほか、文化財の周知や活用を目的とした事業として、受講者が徒歩で日本甜菜製糖総合研究所（旧北海道製糖帯広工場）付近の文化財を巡る博物館講座「ぶらり帯広」の実施や、十勝鉄道蒸気機関車4号及び客車コハ23号を公開し、子どもから大人まで225名の方に乗車体験をしていただきました。また、川西C遺跡や啓北高等小学校跡等4件の史跡標示板の修繕も行いました。 アイヌ文化については、その周知及び理解促進のため、帯広カムイトウウボボ保存会の伝承活動の支援を目的に補助を行ったほか、伝統的生活空間（イオル）再生事業として、古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施し、アイヌ文化に触れて感じられる機会を提供しました。

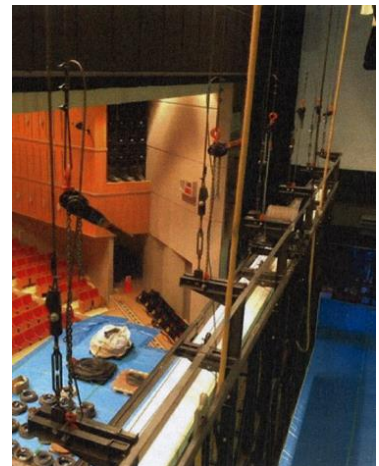


博物館講座「ぶらり帯広」
（渡辺勝・カネ入植の地碑）

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)文化財等の調査・保存・活用 十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、及び史跡標示板の修繕を行ったほか、埋蔵文化財センターを中心に開発行為と埋蔵文化財保護の調整を行いました。 また、重要文化財「八千代 A 遺跡出土品」を活用した学校用教材の作成に取り組んだほか、文化財を活用する事業としてぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車 4 号及び客車コハ 23 号の公開を行いました。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金により活動の補助を行ったほか、伝統的生活空間（イオル）再生事業として古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施しました。
	(3)市史資料収集・保存 令和元年度の出来事をまとめた「年史報告書」を作成しました。また、収集事業資料の公開事業として古文書の連続講座を実施しました。
課題及び 今後の方向性	(1)文化財等の調査・保存・活用 今後も業務委託等により文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行います。 また、文化財を活用する事業を継続して実施していくほか、「八千代 A 遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、専門業者による修理・美装化を実施できるよう、計画的に取り組みをすすめます。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助、及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存伝承をすすめます。
	(3)市史資料収集・保存 継続して「年史報告書」を作成するとともに、令和 4 年度の帯広開拓 140 年、市制施行 90 年の周年事業をみすえた資料収集事業を行います。

個別施策	6-20 文化施設の整備・管理運営
めざす姿	市民が文化施設に魅力を感じ、積極的に活用しています。
施策担当課	生涯学習文化課、百年記念館

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【H26～H30 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	83.0	84.3					88.0 以上
<成果指標の達成状況> 基準値を上回っており、目標値に向けて進捗しています。計画的な修繕や利用者の声を反映し、施設サービスの改善をすすめたことによるものと考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容
◆市民文化ホールの施設整備 市民文化ホールは、市民の文化芸術活動の発表や鑑賞の場の拠点施設として、多くの市民に利用されています。開館から30年以上が経過し、施設の特性を踏まえつつ安全性や緊急性を考慮し、長寿命化等に向けた計画的かつ効率的な修繕・更新をすすめる必要があります。舞台には欠かせない幕やライト、反射板のワイヤーロープ等の更新修繕を大ホールと小ホールで実施し、施設の機能維持に向けた施設整備をすすめました。
 施工時の様子（大ホール）

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、修繕等の施設の機能維持向上に向けた施設整備を行いました。
	(2)適切な管理運営の推進 感染症の影響により利用者は大きく減少しましたが、感染症対策を徹底し、安心して利用できる環境づくりに取り組みました。また、指定管理者による利用者ニーズを意識した適切な管理運営により、施設利用者の満足度は上昇しました。 直営施設では、利用者ニーズを捉え、委託管理により利便性の向上を確保しつつ、効果的・効率的な管理運営に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 文化施設は、文化芸術活動の拠点施設として多くの市民に利用されておりますが、大半の施設が供用開始から30年以上が経過し、施設本体や設備、備品の老朽化がすすんでいます。 今後は、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、優先順位を勘案しながら、公共施設マネジメント計画に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 感染症の影響により、施設利用者数や使用料・利用料金収入の増加が見込みにくい状況となっておりますが、適切な管理運営と利用者サービスを維持します。

基本施策7 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

個別施策	7-21 多様なスポーツ活動の促進
めざす姿	誰もが、「する・みる・ささえる」など多様な形で、スポーツに親しんでいます。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	市内小学生数における帯広市スポーツ少年団登録者数の割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	21.0	18.1					22.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ 基準値を下回っており、目標値に向けて進捗していません。感染症の流行に伴いスポーツ活動が制限され、少年団の活動に影響が出たものと考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容
◆スケート教室・講習会の開催 地域のスポーツ文化であるスピードスケートの普及振興のため、帯広市出身で長野オリンピック金メダリストの清水宏保氏をリーダーとした、「ほっとドリームプロジェクト」を立ち上げ、すそ野拡大・競技者育成・地域の応援体制構築等を目的とした様々な事業を実施しています。 また、十勝管内の小学3～6年生のスピードスケート競技者を対象に、感染症流行下においても参加しやすいオンラインを活用したスケート教室を開催しました。



「ほっとドリームプロジェクト」の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) スポーツの振興 競技大会への優秀選手等の派遣支援等により、スポーツ振興及び更なる競技力の向上をはかったほか、スポーツの普及・振興に貢献のあった人を顕彰するため、1名にスポーツ賞功労部門としてスポーツ賞を贈り表彰しました。また、各種全国・全道大会等の誘致や開催支援、合宿・プロスポーツ等の誘致を通して市民へのスポーツ観戦機会を提供しました。
	(2) スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 スポーツ少年団本部及びスポーツ競技団体である帯広市スポーツ協会への支援を実施したほか、スポーツ少年団指導者やスポーツ推進委員の育成等の支援を通して、指導者を確保するとともに育成活動の支援を実施しました。
	(3) スケート競技の振興 「ほっとドリームプロジェクト」の実施により、スピードスケート競技のすそ野拡大、競技者育成及び地域応援体制の整備を行ったほか、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興を推進しました。また、全国高等学校選抜スピードスケート競技会をはじめとする各種大会等の開催を支援しました。
課題及び 今後の方向性	(1) スポーツの振興 競技スポーツ活動を支援するため、引き続き競技大会への優秀選手等の派遣支援やスポーツ賞、スポーツ奨励賞により表彰するほか、市民へのスポーツ観戦機会を提供します。 感染症の影響により、多くの事業や大会等が開催中止を余儀なくされました。今後は、各競技団体と協力の上、感染症対策を講じながら地域の安全を確保し、合宿の受入体制を整備します。
	(2) スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 感染症の影響により、様々なスポーツ活動の規模が縮小しましたが、感染症対策を考慮した上での活動時の安全確保に関する指導者への研修等を通して、スポーツ少年団へ安心して加入できる環境づくりをすすめます。
	(3) スケート競技の振興 スピードスケートをはじめとした地域における各種競技スポーツを普及し、競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催を引き続き支援します。また、スピードスケート教室に対する地域の需要が高いことから、今後もほっとドリームプロジェクト事業や、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、スケート競技の普及促進に向けて取り組みます。

個別施策	7-22 スポーツによる活力のあるまちづくり
めざす姿	誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツで集い、まちの賑わいづくりにつながっています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	1年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	82.4	82.0					87.0以上
＜成果指標の達成状況＞ 基準値を下回っており、目標値に向けて進捗していません。感染症の影響により、各種全国・全道大会、プロスポーツの試合等が中止になったことが要因と考えられます。							

令和2年度の主な取り組みの内容
◆総合型地域スポーツクラブの活動支援 総合型地域スポーツクラブは、人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブです。同クラブは地域住民により自主的・主体的に運営されており、「子どもから高齢者まで（多世代）」、「様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）」、「初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）」という特徴を持っています。 令和2年度は、新総合体育館が供用開始となった令和元年度に新しく設立された2つのクラブを含めた6つのクラブに対して支援を行いました。



総合型地域スポーツクラブの様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) 地域スポーツの振興 地域の生涯スポーツ振興の中心的役割を担うスポーツ推進委員の人材確保及び育成をはかり、市民がスポーツに親しむきっかけづくりのため、スポーツ推進委員が中心となって実施する各種スポーツ教室の開催を支援したほか、地域住民の健康維持と体力増進のため、地域住民が自ら企画・運営する6つの総合型地域スポーツクラブの運営を支援しました。 また、市民が身近な場所で気軽にスポーツに親しみ、交流が深められるよう学校施設の開放を実施しました。
	(2) スポーツ大会合宿等誘致 競技団体との連携により、各種全国・全道大会等の誘致及び開催支援、プロスポーツ等の誘致を実施しました。 また、フットバレーとかちマラソン大会は、感染症拡大下においても市民が参加しやすいオンライン方式により開催し、大会を通して参加者の健康づくりに取り組みました。
課題及び今後の方向性	(1) 地域スポーツの振興 地域で生涯スポーツの振興を担うスポーツ推進委員の高齢化の進行に加え、担い手となる人材の確保が困難な状況にあります。また、暖冬に伴う小学校のスケートリンクの完成遅れによりスポーツ教室開催数が低調だったほか、地域スポーツ振興事業の中止や学校開放事業における少年団の一時使用中止、及び一般団体の通年使用中止により利用件数が減少する等、感染症による影響が大きく現れた1年となりました。 今後は、地域でスポーツ活動をする人材や団体の育成を支援するほか、学校施設の開放においては、利用者等に向けた利用時期や感染予防に関する情報提供をとおして、学校現場等への感染症の影響に配慮したうえで、市民へのスポーツ活動の場を提供します。
	(2) スポーツ大会合宿等誘致 帯広市で開催予定だった日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会やプロ野球公式戦が開催中止になる等、感染症拡大による影響が大きくなっています。 今後は、感染症対策を講じて地域の安全を確保したうえで、多くの人をまちに呼び込み、人が集い、地域の賑わいにつなげるために、各競技団体と協力して合宿等受入体制の整備をすすめます。

個別施策	7-23 スポーツ施設の整備・管理運営
めざす姿	スポーツ大会の開催をはじめ健康増進や仲間づくりなど、多くの人がスポーツ施設を活用しています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	77.3	82.7					82.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ 基準値及び目標値を上回りました。多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応した安定的なサービスの提供によるものと考えられます。							

令和２年度の主な取り組みの内容
◆指定管理者による施設の管理運営 主なスポーツ施設は指定管理者制度により管理運営されていますが、令和２年にオープンした「よつ葉アリーナ十勝」は、指定管理者制度を内包したPFI事業として設計から維持、管理、運営を特別目的会社（SPC）により実施しています。施設の修繕についてもSPCより長寿命化計画の提案を受け、市はその履行の監督により、利用者ニーズの変化等へ対応するための改修と計画的な設備更新や施設改修等による長寿命化をはかり、施設機能の維持に取り組めます。



よつ葉アリーナ十勝（外観）

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 スポーツ施設における利用者の安全性確保と適切な維持管理のため、帯広の森体育施設高圧ケーブル等改修工事、帯広の森体育館ボイラー改修を実施しました。
	(2)適切な管理運営の推進 スポーツ施設においては、多様化する利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、民間活力を生かした指定管理者制度を導入しているほか、パークゴルフ場においては、指定管理者制度に加え、地域住民や団体の協力を得ながら市民協働による管理運営を実施しました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 スポーツ施設は、日常的な各種競技の練習会場や体力づくりの活動場所として、また、全道大会や全国大会の会場として市民のみならず多くの方に利用されておりますが、多くの施設が供用開始から20年以上が経過し、施設本体や設備、備品の老朽化がすすんでいます。 今後は、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、優先順位を勘案しながら、公共施設マネジメント計画に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 今後も多様化していく利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度、及び地域住民や団体の協力による管理運営を実施するほか、限られた財源のなかで必要とされる施設規模や施設機能、利用者サービスの維持が必要であることから、老朽化の進んだ施設の計画的な改修とともに、指定管理者との連携による施設の効率的な運営をすすめます。

4 教育に関する学識経験者の意見

帯広北高等学校 理事 奥 野 淳 一

(帯広北高等学校 元校長)

帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)の初年度である、令和2年度の取り組みの成果と、課題・今後の方向性を点検・評価された内容については、適切・的確であると考えます。

昨年から継続し現在も世界中を震撼させている、「新型コロナウイルス感染症」により、教育現場のみならず教育行政関係者・保護者はじめ地域全体が影響を受け、基本計画に盛り込まれた目標値に近づけることが大変困難な状況であったことを十分に考慮し、今後の施策推進に生かしていただきたいと考えます。

昨年度の点検・評価でCS「コミュニティ・スクール」の導入が話題に取り上げられていましたが、帯広市が全国的にも先駆けて構築した「エリア・ファミリー構想」による、幼保・小・中連携で得た大きな成果を生かし、各学校において地域との輪を広げ、学校運営協議会で大いに論議し、CSの導入・拡大に視点を当てた努力が必要です。また、CSの導入・拡大には、学校からのみならず、地域からの関わりも重要であり、生涯学習推進委員会をはじめとした地域で活動する団体の積極的な関わりを期待します。コロナ禍で地域との連携強化が制限されたこともあり、成果指標の実績値が伸び悩んだことを理解しつつ、このような状況にも生かされることを基本的に考え、「学校・家庭・地域の連携」を推進される今後の取り組みと成果を期待します。

小学校におけるプログラミングの授業の展開、GIGA スクール構想の構築で児童生徒一人一台のタブレットが整備されるなど、情報教育の環境が急速に発達しています。スマートフォンの保有率も高校生ではほぼ100%に近い数字も示されています。また、図書館等の社会教育施設へのWi-Fi設備の整備や講座のオンライン配信など様々な場面でICTが活用されており、今後は与えられた環境をどう生かすかが最大の課題であり、教師の指導力向上・家庭での指導が求められます。そのための研修を早急に推進することが必要と考えます。さらには、情報モラルの徹底した教育が必要です。子どもの世界ではインターネットの不適切な利用に伴う多くの事件が発生し、大きな課題を抱えていますが乗り越えなければならないものと考えます。着実な推進を期待します。

令和4年4月1日開校の大空学園義務教育学校において、小・中一貫教育の実践が開始されることが明記されています。今後の学校教育の在り方を見つめるうえで大いにモデルとなるものと考えます。少子化にともなう通学区の見直し・学校の適正規模の確保に関する取り組みについても、避けて通れるものでないことのように思われます。地域社会の理解を得て、未来を見つめ「学びと育ちをつなぐ学校づくり」の推進に努力されることを望みます。

「ふるさとの風土に学び 人がきらめき 人がつながる おびひろの教育」の基本理念を追求し、帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)に示された施策のさらなる推進を期待します。

帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)の初年度にあたる令和2年度の取り組みの点検・評価は、コロナ禍という特殊事情により目標に達しない項目が見られましたが、概ね適切であると判断します。課題については引き続き継続して取り組むほか、今後の不測の事態に対応できるよう更なる工夫が必要と考えます。以下、点検した結果を個別に記載します。

(1) 基本目標「夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり」

基本施策1「帯広の明日を拓く力の育成」では、市内全校における「おびひろ市民学」の教育課程への位置づけや、地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供など、郷土の愛着や誇りを育む教育がなされています。また、インターネットやコンピュータ等のICTを活用した学習活動に取り組まれていることも時代に即した重要な取り組みで、今後も継続的に行われることを期待します。

基本施策2「変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成」では、データベース教材の作成及び活用しやすい工夫や、道徳教育の充実により子どもたちがお互いを尊重する道徳性を育てる取り組みがなされています。また健康教育として学校保健委員会が設置され、子どもたちの健康保持増進に努めていることが窺えます。

基本施策3「地域とともに育む教育の推進」では、4校でのコミュニティ・スクール新規導入や、家庭への食育通信の配布を通じた保護者の啓発活動やPTAとの情報交換等による家庭教育への支援がなされており、今後も取り組みを通じて子どもたちが規則正しい生活習慣や社会的なマナーを身につけることを期待します。

基本施策4「安全、安心な教育環境の整備」では、いじめは絶対に許されないと考える児童生徒の実績値の割合が基準値以上で目標値100に近くなっており、道徳等の学習の成果が出ていると思います。また、経済的支援や特別支援教育の充実のほかタブレット端末の整備など、今後も安全安心に学べる教育の継続を期待します。

(2) 基本目標「生涯にわたり学び 活躍できる人づくり」

基本施策5「自ら学びともに支える生涯学習の推進」では、生涯学習指導者登録制度による地域における学習活動の支援のほか、とかちプラザ等の社会教育施設の整備など、今後も計画的な実施が望まれます。

基本施策6「人か輝く文化芸術活動の推進」では、新型コロナウイルス感染症の影響により実績値が目標値よりかなり低くなっている項目がありますが、文化芸術は心の豊かさや生きがい、人とのつながりを生む重要な分野と考えますので、今後も鑑賞の機会等の活動を積極的に行い、あわせて文化施設の整備も引き続き行っていく必要があると考えます。

基本施策7「笑顔をつなげるスポーツ活動の推進」では、オリンピックの自国開催の影響もあってスポーツの機運も高まったせいか、施設利用者の満足度がほぼ目標に達しているのは評価できると考えます。

教育の取り組みは学校と家庭、そして地域の連携が不可欠であり、今後も課題解決に向けて情報を発信しながら、施策の推進に取り組まれることを期待します。

参 考 資 料

○ 令和2年度教育行政執行方針(抜粋)

1. 基本的な考え方

学校教育では、令和2年度以降、小学校から順次全面実施される新学習指導要領を踏まえ、子どもたちが「主体的・対話的で深い学び」を通して新しい時代を生き抜くために必要な資質・能力を確実に身に付ける取り組みを進めるほか、「ふるさと帯広」に対する誇りや愛着を育み、地域社会の一員として、より良い地域づくりに参画しようとする意識を高める教育を推進してまいります。

生涯学習では、市民が生涯にわたって、主体的に学習・文化・スポーツ活動に関わることのできる機会の提供や、誰もが学びの成果を活かし、活躍できる環境づくりに努めながら、多様な世代が学習を通じてつながりを持ち、より良い地域づくりに活かすことのできる学習活動の推進に取り組んでまいります。

なお、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策については、感染の拡大防止や適切な情報提供に努めるなど、事態に即した対応を尽くしてまいります。

2. 主な取り組み

(1) 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり

小・中学校については、義務教育9年間の滑らかな接続を目的とした小中一貫教育の推進をはかるほか、学校運営に保護者や地域住民が参画するコミュニティ・スクールの取り組みを充実してまいります。

また、地域の自然、歴史、文化、産業といった教育資源を活かし、大人とともに学び、これからの社会や地域づくりに関わることができる子どもを育成するため、「おびひろ市民学」を推進してまいります。

このほか、大型提示装置の設置などICT環境の充実をはかるほか、教職員の働き方改革の実現や生徒の心身の成長に配慮するため、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン」及び「帯広市立学校に係る部活動の方針」に基づく取り組みを進めてまいります。

校舎等の整備については、大空小学校と大空中学校の教育環境の充実と活力ある学校づくりを進めるため、両校を統合し、施設一体型の義務教育学校として、令和4年度の開校を目指してまいります。

学校給食については、地場産食材の活用により、安全・安心で帯広らしい給食の提供や、食を通じてふるさとの理解を深める食育の推進のほか、学校給食センターの運営手法について調査・研究を進めてまいります。

青少年の健全育成については、放課後や休日等に学校を核として子どもたちが多様な体験活動を行う子どもの居場所づくりのほか、青少年の非行防止活動などに取り組んでまいります。

帯広南商業高等学校については、十勝管内唯一の商業専門高校として、実践的なキャリア教育を進め、地域社会に貢献できる人材を育成してまいります。

（２） 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり

生涯学習については、人生 100 年時代の到来を見据えた市民大学講座、社会教育施設それぞれが持つ特色を活かした体験学習など、市民の誰もが生涯にわたって学ぶことのできる機会を提供し、その成果がまちづくりや市民福祉の向上に活かされる環境づくりを進めてまいります。

また、帯広市図書館が開館 100 周年を迎えることから記念事業を実施するほか、おびひろ動物園では魅力アップのためのプロモーション動画の制作・発信や園路整備に向けた取り組みなどを進めてまいります。

文化芸術の振興については、市民芸術祭や道立帯広美術館と連携した事業など、市民主体の文化芸術活動の支援や優れた芸術の鑑賞機会を提供してまいります。

スポーツ活動の推進については、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたり、オリンピック聖火リレーやパラリンピック採火式などを実施するほか、フードバレーとかちマラソン大会の開催などを通して、誰もが、「する・みる・ささえる」といった多様な形で、スポーツに親しむことのできる機会の提供や交流を促進する取り組みを進めてまいります。

社会教育、文化、スポーツ施設については、長期的な視点を持ってそれぞれが効果的に機能を発揮するよう、計画的な施設の改修、長寿命化に取り組み、適切な管理運営に努めてまいります。

○ 令和2年度予算決算

資料 2

(単位：円)

科 目	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	主な内容
教育費	8,479,856,000	7,261,057,021	911,461,350	307,337,629	
教育総務費	202,084,000	164,433,336	52,800	37,597,864	
教育委員会費	4,849,000	4,772,879	0	76,121	教育委員報酬及び会議等の出席に係る旅費等
事務局費	98,795,000	75,576,199	0	23,218,801	事務局運営費、教職員管理費、奨学金貸付事業、学生支援給付金事業等
地域連携費	42,474,000	32,436,965	0	10,037,035	学校運営協議会運営費、子どもの居場所づくり事業費、こども学校応援地域事業費等
指導研修費	39,077,000	36,218,089	52,800	2,806,111	教育相談員・外国人講師に係る報酬等
教育研究所費	15,488,000	14,110,574	0	1,377,426	所員報酬、教育研究所運営費等
教職員住宅費	1,401,000	1,318,630	0	82,370	教職員住宅の修理費、教職員住宅の建設工事費等
小学校費	2,165,555,000	1,958,224,439	101,074,720	106,255,841	
学校管理費	737,670,000	632,636,311	27,600,000	77,433,689	小学校管理費、プール・リンク造成・維持管理費、学校保健事業費、スクールバス運行事業費等
学校営繕費	60,192,000	46,415,907	13,040,720	735,373	学校営繕費
教育振興費	791,625,000	774,763,788	0	16,861,212	教材教具購入費、就学援助費、学校図書資料整備費、教育用コンピュータ管理費等
施設整備費	576,068,000	504,408,433	60,434,000	11,225,567	学校・学習環境整備費、リニューアル改修事業費
中学校費	2,573,691,000	1,733,423,763	792,748,200	47,519,037	
学校管理費	312,984,000	273,426,425	14,400,000	25,157,575	中学校管理費、リンク造成・維持管理費、学校保健事業費、スクールバス運行事業費等
学校営繕費	32,392,000	21,637,816	10,490,700	263,484	学校営繕費
教育振興費	427,910,000	411,736,478	0	16,173,522	教材教具購入費、就学援助費、学校図書資料整備費、教育用コンピュータ管理費等
施設整備費	1,800,405,000	1,026,623,044	767,857,500	5,924,456	学校・学習環境整備費、リニューアル改修事業費、大空学園整備費
高等学校費	109,045,000	77,581,750	17,585,630	13,877,620	
学校管理費	54,748,000	43,885,835	2,000,000	8,862,165	南商管理費、学校保健事業費、国際理解教育推進事業費等
学校営繕費	2,136,000	1,701,026	388,630	46,344	南商営繕費
教育振興費	28,510,000	15,385,548	10,269,000	2,855,452	教材教具購入費、学習環境管理費、キャリア教育推進費
施設整備費	23,651,000	16,609,341	4,928,000	2,113,659	学校環境整備費

科 目	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	主な内容
社会教育費	945,412,000	906,665,839	0	38,746,161	
社会教育総務費	7,208,000	4,506,079	0	2,701,921	社会教育委員等報酬、講座開催経費等
文化振興費	17,426,000	11,927,651	0	5,498,349	文化団体等補助金、事業開催負担金、文化財経費等
とかちプラザ費	240,828,000	236,461,578	0	4,366,422	とかちプラザ管理費、施設修繕等
市民文化ホール費	224,183,000	218,430,720	0	5,752,280	市民文化ホール管理運営費、施設修繕等
百年記念館費	65,315,000	60,351,421	0	4,963,579	百年記念館管理運営費、施設修繕等
図書館費	169,445,000	163,478,111	0	5,966,889	図書館管理運営費、図書資料等整備費、図書館資料デジタル化事業費等
児童会館費	49,134,000	45,920,458	0	3,213,542	児童会館管理運営費、野草園管理運営費、行事・実習関連経費等
農業体験実習館費	8,029,000	7,769,933	0	259,067	農業体験実習館管理運営費
動物園費	134,807,000	129,971,984	0	4,835,016	動物園管理運営費、遊具管理費、施設修繕等
市民ギャラリー費	29,037,000	27,847,904	0	1,189,096	市民ギャラリー管理費
保健体育費	2,484,069,000	2,420,727,894	0	63,341,106	
保健体育総務費	49,609,000	29,256,650	0	20,352,350	スポーツ行事・活動関係経費、団体育成・大会開催費、学校開放経費、指導者育成経費等
体育施設費	1,446,207,000	1,444,708,789	0	1,498,211	社会体育施設管理運営費、施設修繕・改修費等
学校給食センター費	988,253,000	946,762,455	0	41,490,545	学校給食センター管理費、賄材料費、委託料、学校給食食育推進費等

※翌年度繰越額は、継続費通次繰越及び繰越明許費

○ 令和２年度における主な取り組み一覧

（１） 帯広の明日を拓く力の育成

① ふるさと教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
地域資源を活用したふるさと理解の促進	９年間を通した「おびひろ市民学」の実施、郷土体験学習（小学４年生対象）、児童会館科学展示室（入場者 １１,０００人）、埋蔵文化財センターの活動、アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の活動、小学生のための動物園塾（オンライン開催）、おびＺｏｏ寺子屋（４回、５９人）、ほっとドリームプロジェクト（延べ１,３３１人参加）
食を通じたふるさと理解の促進	「ふるさと給食」の実施、ふるさと農園の実施（啓北小・光南小・清川小）、「おびひろ市民学」による「帯広らしい食育プログラム」の実施
地域社会に参画する意識の醸成	ジュニアリーダー「あるふあの会」（４０人）、社会科及び総合的な学習の時間を活用した調べ学習、防災教室の実施（小学校２６校、中学校１３校）
環境教育の推進	帯広らしい環境教育プログラム集のホームページへの掲載、児童会館科学展示室（入場者 １１,０００人）、児童会館での科学教室・工作教室等（１,５２３人）、自然系出前講座（８回）

② 職業観の育成

主な取り組み	内訳・実績
学校におけるキャリア教育の推進	インターネットを活用した調べ学習
職業体験機会の充実	小学生の１日飼育係（１回、１１人）、１日飼育係（３回、９人）、親子で飼育体験（１回６人）、学校での講話、職業調べに対する協力

③ 情報教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
情報活用能力の育成	夏期研修講座における教職員向け研修
情報モラルの育成	帯広市ネット非行対策講演会、携帯電話販売店の立入調査（２４店）、各校で外部講師等を活用した情報教室の開催
プログラミング教育の推進	プログラミング教育事業研究実践指定校（稲田小）による実践公開

④ 国際理解教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	外国語指導講師（ALT）を全小中学校に派遣
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	国際交流員や JICA 職員の学校訪問

⑤ 南商業高等学校における教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
商業教育の充実	南商での外国人英語指導助手配置（1 人）
地域経済に貢献する人材の育成	特筆項目なし（感染症の影響による）
地域社会との連携・協働による教育の推進	特筆項目なし
地域とつながる活動の推進	南商におけるボランティア活動（32 クラブ）

（２） 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

⑥ 学びを生かす力の育成

主な取り組み	内訳・実績
学校における授業の工夫・改善	「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業、ICTを活用した授業
学習活動の支援	長期休業期間や放課後の時間を活用して学習会を開催、データベース教材の作成（体育科、主運動につながる体づくり運動）、ぶっくーる便（667 件・23,345 冊）
教育課程の工夫・改善	教育課程編成の手引きの作成、小中学校における一貫性のある教育課程、CRT 標準学力検査、研究紀要「帯広の子どもたちの学力」発行
学力の分析・検証	特筆項目なし
体験的・問題解決的学習の推進	観察・実験などの体験学習の推進、自由研究応援！ヒグマを知ろう調べよう（畜大連携事業・1 回、20 人）、児童会館での宿泊学習等（2,492 人）、プラネタリウム上映（入場者 4,085 人）

⑦ 豊かな人間性と創造性の育成

主な取り組み	内訳・実績
道徳教育の充実	学校指導訪問での指導・助言
読書活動の推進	学校図書館の図書資料の整備・充実（12,085冊）、司書教諭の配置（29校、29人）、学校図書運営委員会への補助（40者）、学校図書館開放事業、図書ボランティアとの連携、おはなし会（55回、1,147人）、かわるカラダ親子でいっしょに性教育ー（キミヘノチカラシリーズ）ブックリスト発行
文化芸術活動の推進	幼児向けのミニコンサート（147人）
体験活動の推進	乗り物利用学習等の体験活動の実施、児童会館科学展示室（入場者11,000人）、児童会館での体験活動（科学教室・工作教室等1,523人、文化関連事業758人）、野草園の利用者7,325人、体験教室（26人）、夏休み親子陶芸教室（2回、35人）、冬休み親子陶芸教室（3回、90人）、親子七宝教室（2回、30人）、小学生の1日飼育係（1回、11人）、1日飼育係（3回、9人）、親子で飼育体験（1回6人）、ふれあい教室・ぬくもり体験（58組、1,805人）

⑧ 健やかな体の育成

主な取り組み	内訳・実績
体力・運動能力の向上	帯広市体力・運動能力の調査分析、スポーツ少年団本部への支援（少年団数74団体、登録者数1,513人）、スポーツ少年団指導者育成の支援（366人）、ほっとドリームプロジェクト（延べ1,331人参加）
安全・安心な学校給食の提供	地場産食材の導入促進、アレルギー対応の実施（176人）
正しい「食」への理解の推進	「食育通信」の配布、食育推進会議を開催し食育推進部会でリーフレット等の作成、「おびひろ市民学」において各校に食育指導専門員を派遣し「帯広らしい食育プログラム」の実施、食関連図書展示「きもちのひとつ！おいしく食べよう！」
健康教育・健康保持	がん教育等健康に関する出前講座の開催、男女共同参画に関わっての資料配付

⑨ 教員の資質・能力の向上

主な取り組み	内訳・実績
教員の指導力の向上	指導主事による学校教育指導における指導・助言、教員リーダー育成講座（1回）、パソコン研修講座（延べ412人）、帯広市教育研究会事業補助、ほっとドリームプロジェクト（延べ1,331人参加）
教職員の働き方改革の推進	校務用PC更新200台、校務系ネットワーク集約化、教職員住宅の整備（改築：清川小）

（３） 地域とともに育む教育の推進

⑩ 地域との連携・協働の推進

主な取り組み	内訳・実績
地域における支援体制の充実	コミュニティ・スクールの導入（4校2協議会）、帯広市コミュニティ・スクール通信の発行（3回）、学校支援地域本部の運営（14本部40校）こども学校応援地域交付金の交付（8団体）、帯広市学校・家庭・地域協働会議の開催（2回）、指導主事による学校教育指導におけるコミュニティ・スクール推進に係る指導・助言
子どもの安全対策の充実	子どもの見守り活動実施（全小中学校40校）、子ども110番の家設置登録（1,017件）、通学路安全対策連絡協議会の開催（全2回）、通学路危険箇所合同点検（7箇所）、帯広市子供安全ネットワークの活用
地域主体の体験活動への支援	放課後子ども広場の実施（23校、延べ169回、延べ1,925人）、帯広市生涯学習推進委員協議会として帯広市学校・家庭・地域協働会議に出席（2回）

⑪ 家庭教育への支援

主な取り組み	内訳・実績
教育相談の充実	家庭訪問相談員等の教育相談員の配置
家庭教育力向上のための支援	「食育通信」の配布、起床や食事の摂取状況を家庭において記録するためシートを配布、家庭教育学級（7学級、85人）、わくわく♪ドキドキ!!家読（うちどく）にチャレンジ！（1回、60人）
P T Aとの連携の促進	学校とPTAの間で情報交換、帯広市PTA連合会への補助

⑫ 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進

主な取り組み	内訳・実績
学校間の連携の推進	帯広市幼保小中連携推進委員会の設置、帯広市エリア・ファミリー構想の推進（市内全 14 エリアで協議の場を設置）
通学区域の見直しの実施	特筆項目なし

（４） 安全・安心な教育環境の整備

⑬ 誰もが安心して学べる教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
いじめ・非行の防止	街頭巡回活動(440 回)、声かけ指導人数(734 人)、道徳などの教科を通じて、いじめや人権について考え、議論する取り組み
不登校への対応	家庭訪問相談員等による相談業務と学校指導適応教室の運営
教育機会の確保	帯広市高等学校間口対策協議会の開催(2 回)、就学援助認定（小1,352 人、中775人）、奨学金貸付（大学生34人、専門学校生2人）、障害者高等教育補助（104人）
一人ひとりに応じた教育の充実	就学に関する教育相談の実施（456件）、特別支援教育助手の配置（8人）、特別支援教育補助員の配置（61人）、生活介助員の配置（31人）、特別支援学級の運営、小規模特認校就学（児童2人）、特別支援学級在籍児童生徒の個別の指導計画及び支援計画を作成

⑭ 安全で充実した教育環境の整備

主な取り組み	内訳・実績
学校施設の整備	大空学園義務教育学校一期工事の着手、ボイラー改修（第五中、緑園中）、トイレ大規模改修（広陽小）、トイレ洋式化改修（小学校4校、中学校2校）、煙突用断熱材除去工事（緑丘小、明星小）、保健室エアコン整備（小学校23校、中学校13校）、校内通信ネットワーク整備（小学校25校、中学校13校、南商業高等学校）、屋内体育館換気設備整備（南商業高等学校）、網戸整備ほか個別改修の実施
学習環境の整備	教育用パソコンの活用（1,433台）、教育用コンピューター機器の更新（508台）、GIGAスクール構想を踏まえたタブレット端末導入（児童生徒用12,002台、教職員用733台）
学校適正規模確保の推進	大空学園義務教育学校準備協議会の開催（全2回）校歌作詞作曲者・校章原案決定

(5) 自ら学びともに支える生涯学習の推進

⑮ 学習活動の促進

主な取り組み	内訳・実績
学習機会や情報の提供	市民大学講座（20 講座、受講者 612 人）、生涯学習情報誌（情報誌「まなびや」成人向け 4 回、小学生向け 2 回）、地域の学習情報・指導者情報のホームページでの提供、放送大学帯広学習室の設置（利用者 9 人）、【社会教育施設連携事業】子ども向けプチ講演会「絵本に出てくる虫のおはなし」（1 回、18 人）、博物館講座（269 人）、郷土学習見学会（30 人）、連続講座（76 人）、体験教室（26 人）、企画展（1,945 人）、収蔵作品展（1,602 人）、レファレンス、親子で挑戦！動物園のミステリークイズ（2 回、54 人）、おびZoo寺子屋（4 回、59 人）、裏側探検隊（5 回 173 人）、スポットガイド（随時）、小学生のための動物園塾（オンライン塾を開催）、小学生の1日飼育係（1 回、11 人）、1日飼育係（3 回、9 人）、親子で飼育体験（1 回 6 人）、ふれあい教室・ぬくもり体験（58 組、1,805 人）、SNS による情報発信

⑯ 学習を通じたまちづくり

主な取り組み	内訳・実績
自主的な学習活動の支援	コミュニティ講座（4,155 人）、語り手育成講習会（2 講座、2 回、25 人）、百年記念館の常設展示解説（13 回）、レコードコンサート（3 回）
地域の人材の育成・活用	学生の社会参加（9 日実施、参加者数 18 人）、生涯学習コーディネーターの支援、地域の指導者の登録者数（195 人）、学生によるボランティア活動の機会提供・取り組みへの支援、帯広畜産大学との共同研究の実施

⑰ 社会教育施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	とかちプラザの施設整備（冷暖房用空調機コントローラ 2 基の修繕、給湯用ボイラー及び高圧受電盤の更新）、児童会館の施設整備（プラネタリウム室暖房機取替修繕、自家発電設備蓄電池取替修繕）、百年記念館の施設整備（ボイラー修繕、陶芸窯修繕、トイレ漏水修繕、パッケージエアコン更新工事）、動物園の施設整備（高圧受電設備更新、給水管更新工事）
適切な管理運営の推進	施設利用者数（とかちプラザ 144,602 人、帯広市図書館 138,456 人、帯広百年記念館 47,962 人、おびひろ動物園 145,337 人、帯広市児童会館 50,476 人、帯広市野草園 7,325 人、帯広市岩内自然の村 4,653 人）

(6) 人が輝く文化芸術活動の推進

⑱ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働

主な取り組み	内訳・実績
市民文化芸術活動の促進	第15回北の構図展（出品者15人）、大ホールでスタインウェイを弾いてみよう！（参加者162人）、ティータイムコンサート（出演者3人）、市民文藝第60号（113人、1,181作品）、とかちジュニア文芸第11号（応募者数221人、244作品）
文化活動団体の活動支援・指導者育成	文化団体等の情報提供（ホームページ掲載団体255団体）、帯広市文化賞等（2個人・3団体）、芸術文化活動振興事業補助金（2団体）
文化芸術の鑑賞機会の提供	令和2年度アートシアター鑑賞事業よったり寄ったり競演会～東と西の落語～（149人）、ティータイムコンサート（197人）

⑲ 文化資源の継承・活用

主な取り組み	内訳・実績
文化財等の調査・保存・活用	埋蔵文化財センターの活動
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	アイヌ民族文化理解促進指導用教材の作成（副読本 おびひろ）、アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の活動
市史資料収集・保存	特筆項目なし

⑳ 文化施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	市民ギャラリーの施設整備（展示室壁塗装修繕、冷暖房機修繕、非常用バッテリー及び誘導灯修繕）、文化ホールの施設整備（舞台吊物機構修繕、高圧ケーブル更新、天反ボーダーケーブル更新）
適切な管理運営の推進	施設利用者数（帯広市民文化ホール 54,452人、おびひろグリーンステージ 51人、市民ギャラリー 8,888人）

(7) 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

① 多様なスポーツ活動の促進

主な取り組み	内訳・実績
スポーツの振興	スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施（スポーツ賞個人 1 人）
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	スポーツ大会派遣補助（80 件、346 人）、スポーツ少年団本部への支援（少年団数 74 団体、登録者数 1,513 人）、スポーツ少年団指導者育成の支援（366 人）
スケート競技の振興	ほっとドリームプロジェクト（延べ 1,331 人参加）

② スポーツによる活力のあるまちづくり

主な取り組み	内訳・実績
地域スポーツの振興	スポーツ推進委員の配置（委員数 48 人）、各種スポーツ教室の開催（18 回、延べ 1,126 人参加）、総合型地域スポーツクラブへの支援（6 団体）、フットバレーとかちマラソン大会のオンライン開催（990 人参加）、学校開放事業（スポーツ開放）（324 団体、延べ 72,828 人利用）
スポーツ大会合宿等誘致	各種全国・全道大会等の誘致及び開催支援（16 大会への支援）、合宿の誘致（宿泊団体数 216 団体、宿泊者数 3,897 人）、プロスポーツ等の誘致

③ スポーツ施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	帯広の森体育施設高圧ケーブル等改修工事、帯広の森体育館ボイラー改修
適切な管理運営の推進	体育施設利用者数（1,011,275 人）

(8) 施策の推進

教育委員会における取り組み
教育委員会会議の会議録のホームページでの公開、社会教育委員会会議の開催（3 回）

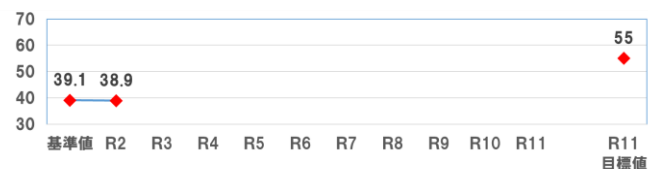
○ 成果指標の推移

基本施策1：帯広の明日を拓く力の育成

参考図1. 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合(%)

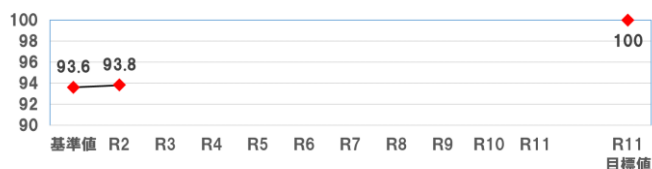


小学生（基準値はH27～R1平均）

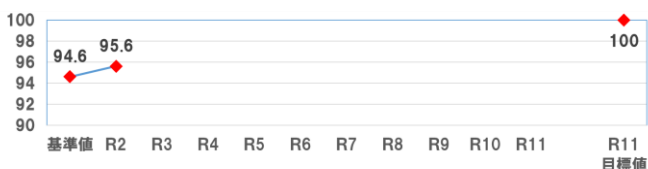


中学生（基準値はH27～R1平均）

参考図2. 人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合(%)



小学生（基準値はH27～R1平均）



中学生（基準値はH27～R1平均）

参考図3. 授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合(%)



小学生（基準値はR1）

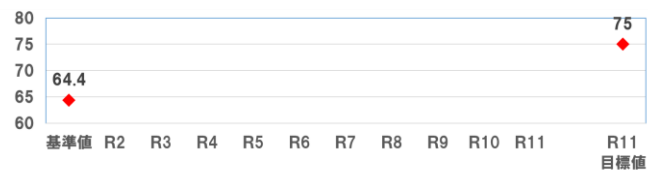


中学生（基準値はR1）

参考図4. 外国の人と友達になったり、外国のことについて
もっと知ってみたりしてみたいと思う子どもの割合(%)



小学生（基準値はH29～R1平均）



中学生（基準値はH29～R1平均）

参考図5. 地域貢献活動に主体的に
取り組んでいる生徒の割合(%)



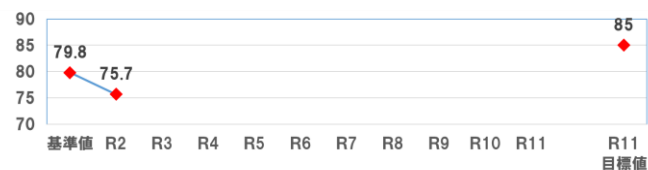
（基準値はR1）

基本施策2：変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

参考図6. 授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合(%)



小学生（基準値はH30～R1平均）



中学生（基準値はH30～R1平均）

参考図7. 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合(%)

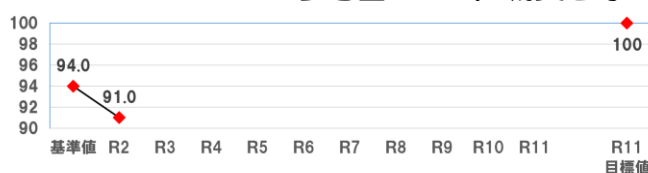


小学生（基準値はH27～R1平均）

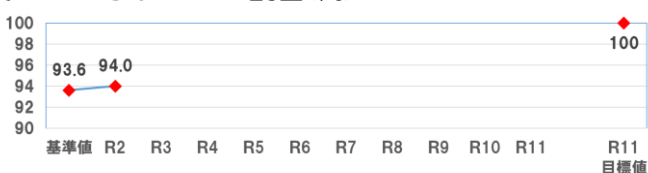


中学生（基準値はH27～R1平均）

参考図8-1. 朝食を毎日食べている子どもの割合(%)



小学生（基準値はH27～R1平均）

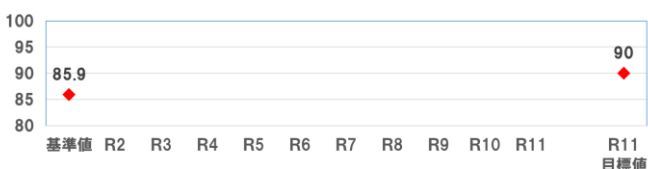


中学生（基準値はH27～R1平均）

参考図8-2. 1週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合(%)

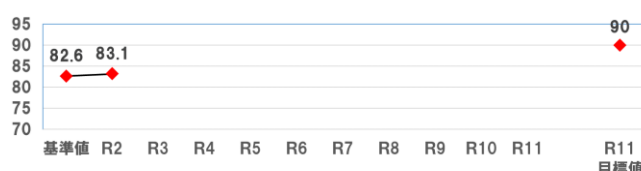


小学生（基準値はH26～H30平均）

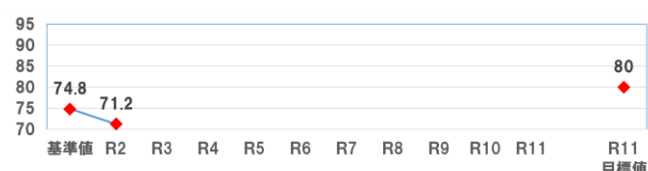


中学生（基準値はH26～H30平均）

参考図9. 授業の内容がよくわかると思う子どもの割合(%)



小学生（基準値はH27～R1平均）



中学生（基準値はH27～R1平均）

基本施策３：地域とともに育む教育の推進

参考図１０．地域の行事に参加している子どもの割合(%)



参考図１１．家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合(%)



参考図１２．小・中学校９年間を見通した授業を行っている学校の割合(%)

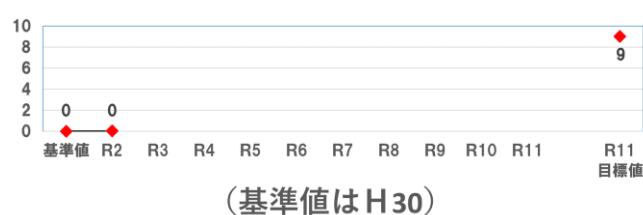


基本施策４：安全・安心な教育環境の整備

参考図１３．「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合(%)

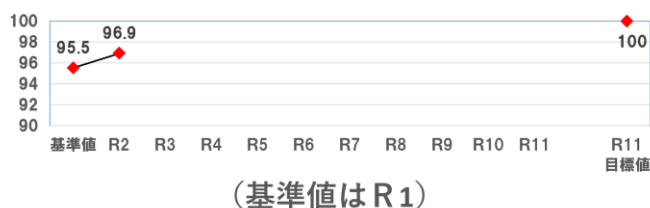


参考図１４．長寿命化改修の実施校数(校)



基本施策5：自ら学びともに支える生涯学習の推進

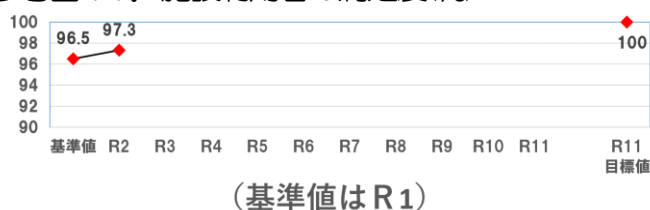
参考図15. 講座の満足度(%)



参考図16. 学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合(%)



参考図17. 施設利用者の満足度(%)



基本施策6：人が輝く文化芸術活動の推進

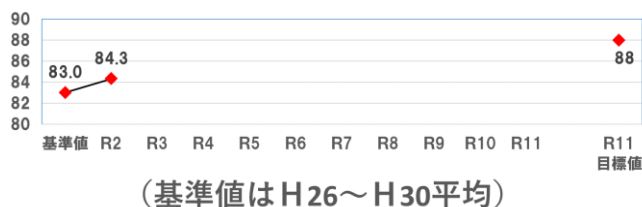
参考図18. 直近1年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合(%)



参考図19. 市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数(件)

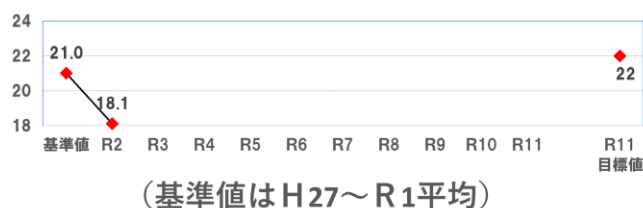


参考図20. 施設利用者の満足度(%)

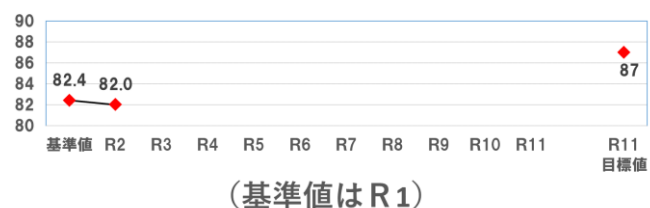


基本施策7：笑顔をつなげる教育活動の推進

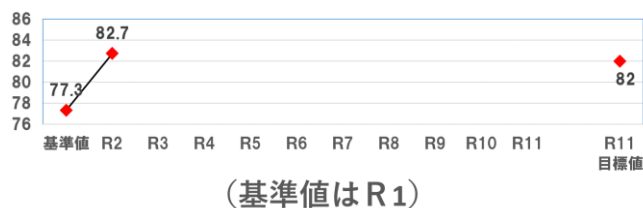
参考図21. 市内小学生数における帯広市
スポーツ少年団登録者数の割合(%)



参考図22. 1年間のうち、する、みる、ささえる
ことでスポーツに関わった市民の割合(%)



参考図23. 施設利用者の満足度(%)



※参考図4. 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ってみたりしてみたいと思う子どもの割合(%)は、当該年度の全国学力・学習状況調査(文部科学省)における質問項目がなかったため、R2年度の実績値はありません。

※参考図8-2. 1週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合(%)は、当該年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)が行われなかったため、R2年度の実績値はありません。